Qualitätszertifikat

合格証明書

GODOX WeChat
公式アカウント

Godox öffentliches
Wechat-Konto

深圳市神牛攝影器材有限公司

所在地：深セン市宝安区福海街道塘尾社区耀川工業区工場 2 棟　電話 :0755-29609320(8062)
FAX:0755-25723423　メールアドレス :godox@godox.com

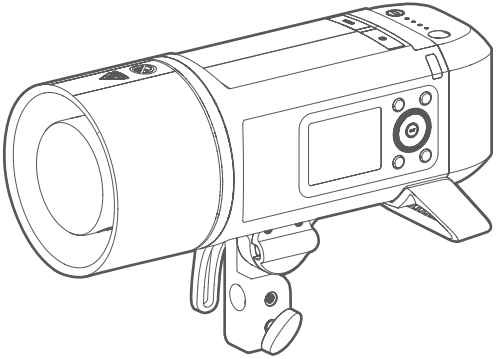
GODOX Photo Equipment Co.,Ltd.

Hinzufügen.: Gebäude2, Industriegebiet Yaochuan, Gemeinde Tangwei, Fuhai-Wohngemeinschaft, Bezirk Bao'an, Shenzhen　Tel.: 0755-29609320(8062)　Fax.:0755-25723423　E-Mail:godox@godox.com

www.godox.com

Made in China | 705-AD60P2-02

Godox



AD600ProII

Integriertes Outdoor-Aufnahmeblitzlicht
一体型アウトドア撮影フラッシュライト

Benutzerhandbuch
取扱い説明書

安全上のご注意

重要な安全上のご注意

本製品は専門的な撮影装置であり、専門者によって操作する必要があります。
使用する際には以下の基本的な安全予防措置を守ってください。
使用する前に製品の輸送保護材と梱包材をすべて除去してください。

1. 製品を使用する前に、取扱い説明書をよく読んで完全に理解し、説明書の安全提示に厳密に従って操作してください。そうしないと、死亡、重大な傷害、製品の損傷、その他の財産損失を招く恐れがあります。
2. フラッシュライト動作時に高電圧が発生し、電源を切ったとしても、設備内部のコンデンサにはしばらく電気が残留します。
3. これはプロ灯具であり、子供の使用は禁止されています。子供が近くにいる場合、親または保護者は、子供が灯具にぶつかったり、使用したりすることによる人的傷害を避けるために、注意深く監視する必要があります。
4. この灯具は通常の照明器具ではありません、一般照明には使用できません。目に損傷を受けている方や目が敏感な方は、この灯具を使用しないでください。
5. 火傷を避けるために、フラッシュチューブなどの高温部に触れないよう慎重に取り扱ってください。
6. いかなる場合でも、フラッシュライトを直接人の目（特に赤ちゃんの目）に向けてはなりません。短時間で視力障害を引き起こす可能性があります。目に不快感があったら、直ちに灯具を消し、使用を中止し、直ちに診察を受けてください。
7. フラッシュチューブが破損した場合は、事故を避けるために直ちに使用を中止し、メーカー、サービス代理店、または有資格の保守担当者に連絡し、交換してください。
8. 破損した機器や付属品を使用しないでください。また、専門保守員によって点検と修理を行い、機器が正常であることを確認してから使用してください。
9. ランプ、保護ガラス又はヒューズを交換する前に、電源を切るか、電池を取り外し（電池が入っている場合）、ランプと電源が完全に切断されていることを確認してください。ランプ交換前に 10 分間冷却させ、操作時に絶縁 / 又は断熱手袋を着用してください。
10. プラグを抜き差しする時は電源を切り、プラグが奥まで挿入されていることを確認してください。
11. 使用中に落下、押し付け、または強い衝撃により製品のケースが破損した場合は、内部の電子部品との接触による感電と傷害を避けるため、使用を中止してください。
12. 一部の製品は電源ケーブルが長いので、熱源に接触したり、人につまずいたりしないように合理的に配置してください。できるだけ電源ケーブルの純正品を使用してください。非純正品の使用による破損は保証の対象外です。
13. 清掃と修理を行う前に、必ずコンセントから機器のプラグを抜いてください。電源ケーブルを引っ張って無理に引き抜くことではなく、プラグの端部を両手でつかんで引き抜いてください。

14. この製品は防水機能を備えていません。乾燥状態に維持し、水やその他の液体に浸すことをしないでください。換気が良い乾燥場所に設置してください。雨天、高湿、ほこりの多い又は高温環境では使用しないでください。危険事故を防ぐため、設備の上に物を置いたり、液体を内部に流させたりしないでください。
15. 許可を得ることなく、この製品を勝手に分解しないでください。故障した場合は、当社または認定保守員に点検と修理を依頼してください。
16. 機器を保管する前に、機器が完全に冷却されていることを確認し、電源ケーブルを抜いてください。機器の収納バッグ又は換気の良い乾燥な場所に保管してください。
17. アルコール、ガソリンなど、可燃性や揮発性溶媒やメタン、エタンなどのガスの近くに置かないでください。
18. 爆発の危険がある環境での使用や保管は禁止されます。
19. 運転中と運転後、口金とユーザーや他の人、および感熱性又は可燃性物品との間には、常に少なくとも 1 メートルの距離を維持しなければなりません。
20. 機器の放熱口は絶対に覆わないでください!
21. 当社が承認されていない部品は使用しないでください。火災、感電、人身傷害の原因になります。
22. 機器を清掃するときは、乾燥した柔らかい布でやさしく拭いてください。湿った布を使用してはいけません。そうしないと、機器が破損する可能性があります。
23. 一部の製品には保護カバーを装備しています。使用する際には取り外してください。
24. この取扱い説明書は、厳密な試験に基づいて制定され、予告なく設計と仕様変更を行う場合があります。お客様は Godox の公式サイトにログインして最新の電子版説明書を確認し、最新の製品情報を了解することができます。
25. 一部の製品にはリチウムイオン電池が内蔵しており、専用充電器を使用して充電し、正確な操作説明に従って、所定の電圧と温度範囲内で使用しなければなりません。
26. 一部の製品はリチウム電池による電源を使用します。リチウムイオン電池の耐用年数は限られており、電力蓄積能力が不可逆的に徐々に失われます。電池が老化すると、製品の持続使用時間が短くなります。リチウムイオン電池の耐用年数は 2 ～ 3 年と予測されます。定期的に電池の状態をチェックしてください。充電時間が大幅に長くなり、持続使用時間が顕著に短くなった場合は、新しい電池の交換を検討してください。
27. 一部の製品はリチウム電池を搭載しており、次のように貯蔵してください: 貯蔵する前に、約 50% の電力量まで充放電してください。少なくとも 6 ヶ月に 1 回約 50% の電力量まで充電してください。取り外し可能な電池は単独で保管してください。貯蔵温度は 0° C から 40° C 以内に制御してください。
    一部の製品はリチウム電池による電源を使用しており、次の点に注意してください。

- 電池を分解したり、押し潰したり、刺したりしないでください。
- 電池の接点の短絡を避けてください。
- 火の中又は水の中で電池を処理しないでください。
- 電池を 60℃以上の高温環境に置かないでください。
- 電池をお子様の手が届かない場所に置いてください。
- 電池に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 破損した電池は使わないでください。
- 漏れが発生した場合は、漏れた液体には接触しないでください。
- 電池の液体が目に付着した場合、すぐに水で少なくとも 15 分間洗い流し、まぶたを開けて液体がなくなったと感じしてからすぐに診察を受けてください。

29. 電池を廃棄する前に、現地の法律法規を確認し、遵守してください。
30. この機器の保証期間は 1 年です。消耗品である電池、アダプター、電源ケーブル、およびその他の付属品は、保証の対象外です。
31. 自分で勝手に修理する場合は保証資格を取り消し、修理費用を請求します。
32. リチウムイオン電池を受け取ってから電池の状態、電池残量を検査してください。品質問題があれば、保証期間内に Godox 又は Godox が承認された販売店にお問い合わせください。
33. 不適切な操作による故障は、保証対象外です。

目次

前書き	05
主な特徴	05
警告	06
部品名	07
梱包物	08
別途購入可能アタッチメント	08
リフレクター / フラッシュランプの取付け / 取外し	09
フラッシュライト角度の調整	10
オン / オフ	11
表示画面	11
電池説明	12
高速同期	14
M: 手動フラッシュ	14
Multi: ストロボフラッシュ	17
TTL: 自動フラッシュ	18
ワイヤレス (2.4G) 伝送	19
フラッシュモード	22
Godox2.4G ワイヤレスフラッシュ漏れの原因及び解策	22
造形ライト	23
カスタム機能	24
同期ソケットトリガー	25
保護機能	25
仕様	27
ファームウェアアップデート	28
メンテナンス	28

前書き

AD600ProII 一体型アウトドア撮影フラッシュライトは TTL 高出力フラッシュライトであり、取外し可能なリチウム電池を使用し、持ち運びやすいです。Godox2.4G ワイヤレス X システムを内蔵し、XPro、XProII、X2T、X3 シリーズのフラッシュトリガーを使用して M/Multi/TTL モードを遠隔制御して AD600ProII のフラッシュをトリガーすることができます。また、マスター・スレーブ機能を使用して Godox のセットトップフラッシュライト、アウトドア撮影フラッシュライト、スタジオフラッシュライトと組み合わせて使用することもできます。AD600ProII を使用すると、より簡単な撮影体験を実現し、光の変化が複雑な場合には、自動的に正確なフラッシュ露光を実現し、撮影が簡単になります。
AD600ProII フラッシュライトは、パワーが強く、電池容量が大きく、全過程の高速撮影に対応でき、1 本だけで太陽光を暗くすることができ、露出ランプと高効率のリフレクターは屋外撮影と実景撮影に良好な光質を提供できます。AD600ProII はオフラインフラッシュライトの絶対的な主力であり、携帯性と効率的な光質を兼ね備えており、フリービジネスカメラマン、新聞記者、オタク、写真愛好家、ウェディングドキュメンタリーカメラマンなどに対して理想的な光源を提供します。

主な特徴

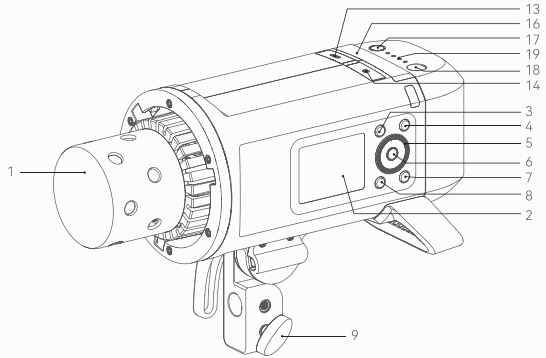
- 急速充電 :0.01-0.9s(最大出力)。
- 色温度一定 : この機能を使用する場合、各段階の色温度ドリフトは ±100K 前後である。
- LED 造形ライト :40W 二色高出力 LED 造形ライト、輝度と色温度を自由に調整できる。
- スタジオ光質： パワーは 600Ws にも達し、フラッシュ指数 GN87(m ISO 100、高効率リフレクターを使用) 、フルパワーフラッシュは 360 回、1/8000 秒の高速同期に対応できる。
- 正確な調光 :1/512 から 1/1 範囲内でパワーを調整でき、各段階は 0.1 単位で正確に微調整でき、光効果の把握はより自由になる。
- 高い互換性： キヤノン、ニコン、富士、オリンパス、ソニー、ライカ、ペンタックスなど、様々なカメラの M/Multi フラッシュシステムとワイヤレス TTL システムを利用でき、ワイヤレスマルチライトフラッシュシステムのスレーブユニットとして使用できる。
- ワイヤレス制御 :2.4G ワイヤレス X システムを内蔵し、Godox のフラッシュトリガーを別途購入して遠隔制御を実現でき、3.5mm 同期差込口を使用して複数種の同期トリガー方式を実現できる。
- 直感的表示 : 各グループの表示灯は独自の色があり、16 色あり、機器と一定の距離を離れた場合でも画面を見る必要がなく、現在のグループを識別できる。
  操作しやすい： 2.8 インチのカラースクリーンを嵌め込んでおり、回転式ダイヤルを搭載
- して滑らかに無段調整でき、つなぎ合わせた本体により、ランプと電池を取り外すときに分類して収納できる。
- アタッチメントがそろっている： バオロンバヨネットを採用し、適用範囲が広い、複数種の光効果アタッチメントを組み合わて使用でき、豊富で実用性が高い。

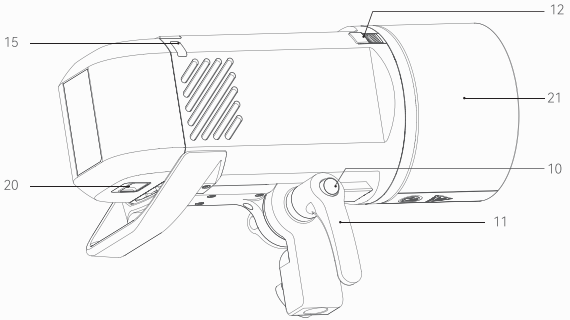
⚠ 警告

⚠ 製品を乾燥状態に保ってください。
⚠ この機器を無断で分解しないでください。故障した場合は、当社または認定保守員に点検と修理を依頼してください。
⚠ 分解、ぶつかり、押し潰し、又は火の中に投入しないでください。大きく膨張している場合は、使用を停止してください。
⚠ 50℃以上の高温環境には置かないでください。
⚠ フラッシュライトを直接人の目（特に赤ちゃんの目）に向けてはなりません。短時間で視力障害を引き起こす可能性があります。
⚠ 化学品、可燃性ガス、その他の特別な物質の近くでフラッシュライトを使用しないでください。これらの物質は、フラッシュライトが発する瞬間の強い光に敏感で、火災や電磁妨害を引き起こす可能性があります。この場合は、関連警告表示に注意してください。
⚠ この製品は防水機能を備えていません。雨の日、及び高湿の環境では防水に注意してください。
⚠ この製品を使用する前に口金保護カバーを外してください

部品名

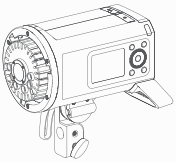
本体





1. フラッシュランプ
2. カラースクリーン
3.MENU ボタン
4.MODE ボタン
5. 調整ダイヤル
6.SET ボタン
7. オン・オフ / フラッシュ試験ボタン
8. 造形ライトボタン
9. ブラケットロックノブ
10. ハンドル固定具
11. ハンドル
12. 差込口プッシュ
13.USB-C ファームウェアアップデートポート
14.3.5mm 同期差込口
15. グループ表示灯 ×2
16. 光制御受信機
17. 電池残量表示ボタン
18. 電池充電ポート
19. 電池残量表示ライト
20. 電池ボックスプッシュ
21. 傘用リフレクター

梱包物


ライト本体 × 1

ランプ × 1

電池 × 1

充電器 × 1

電源ケーブル × 1

傘用リフレクター保護カバー × 1

傘用リフレクター × 1

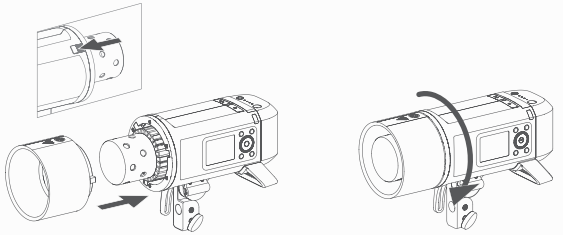
取扱い説明書 × 1

別途購入可能アタッチメント

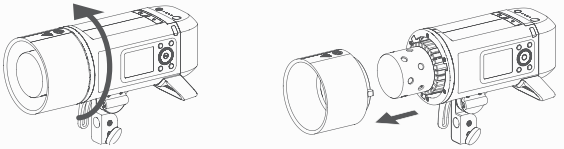
口金 :H600P ポータブル式口金。
電源 :AC26AC 電源、UC46USB 充電器。
フラッシュトリガー :XPro、XProII、X2T、X3 シリーズ。
光効果アタッチメント：傘型急速オープン柔らかい光作りボックス、球形灯篭柔らかい光作りボックス、クイック装着放物線柔らかい光作りボックス、レーダーカバー、折り畳み式柔らかい光作り傘、集光筒とライトブラケットなど。

リフレクター / フラッシュランプの取付け / 取外し

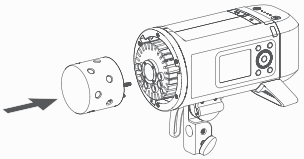
リフレクターの取付け: リフレクターを差込口に合わせて挿入し、押しながら時計回りに回し、差込口プッシュが自動的にロックされます。



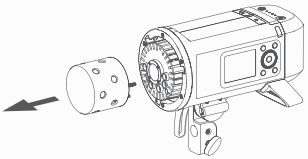
リフレクターの取外し : 差込口プッシュを押しながら、リフレクターを逆時計回りに回してロック解除します。



ランプの取付け: 差込口プッシュを押しながら、リフレクターやその他のアタッチメントを外した後、フラッシュランプをフラッシュライトのソケットに合わせて挿入します。



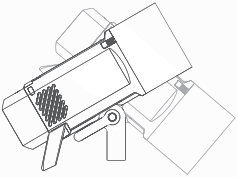
ランプの取外し：差込口プッシュを押しながら、リフレクターやその他のアタッチメントを外した後、フラッシュランプを握って平行に引き抜きます。



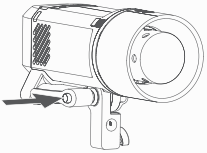
注：安全を確保するために、フラッシュランプの着脱時には手袋を着用してください。

フラッシュライト角度の調整

1. ハンドルの固定具が抜けていない状態で、ハンドルを逆時計回りに回してロックを解除し、本体の必要な角度を調整した後、ハンドルを時計回りに回してロックすれば固定できます。



2. ハンドルを回すときにライト本体に妨害される場合は、ハンドルの固定具を押しながらハンドルを引き抜き、距離を広げてから上記の動作 1 を継続してください。



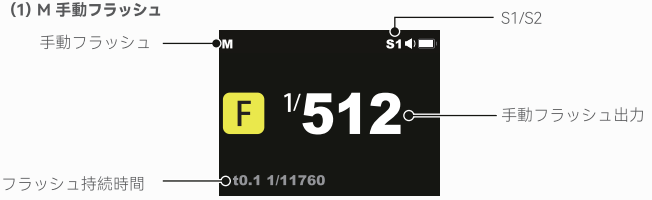
オン・オフ

1. オン・オフボタンを長押しし、画面にロック解除アイコン（ ）が表示され、時計回りに調整ダイヤルを回すとオンになります。
2. オン・オフボタンを長押しし、画面が消灯するとオフになります。

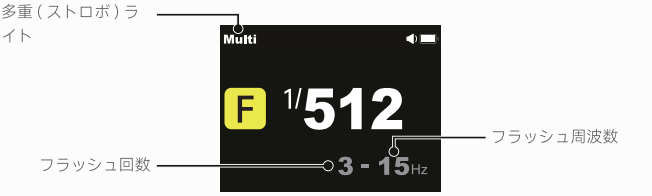
注：長時間使用しない場合は電源を切ってください。この製品は電源自動切断機能があり、メニューバーで自動シャットダウン機能を見つけて設定してください。

表示画面

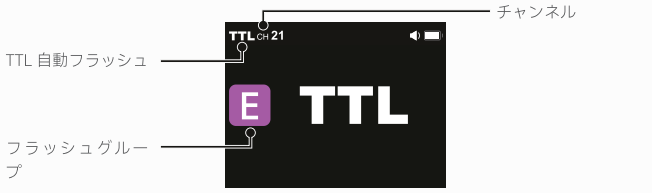
(1) M 手動フラッシュ



(2) Multi ストロボフラッシュ



(3) TTL 自動フラッシュ



電池説明

特性

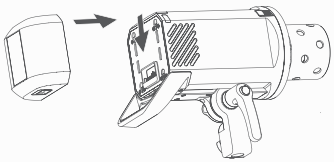
1. この製品はリチウム電池を採用し、300 回繰り返して充放電でき、使用寿命が長い。
2. この製品は、内蔵回路は過充電保護、過放電保護、過電流保護、短絡保護機能を備え、安全で信頼性が高い。
3. 標準装備の電池充電器を採用し、低電力から完全充電まで約 2 時間かかります。

注意事項

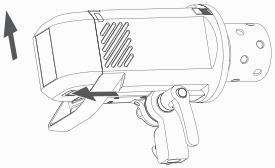
⚠ 正負極の短絡を回避してください。
⚠ 電池は防水機能を備えていません。電池を霧や水に浸してはいけません。
⚠ お子様の手が届かない場所に置いてください。
⚠ 電池は 24 時間以上を放置して充電しないでください。
⚠ 電池は涼しくて、乾燥で換気の良い場所に保管してください。
⚠ 電池を火の近く、又は火の中に投げないでください。
⚠ 電池の廃棄は、現地の規定に従ってください。
⚠ 3 カ月以上電池を使用していない場合は、完全充電してください。

電池の着脱

1. 取付け : 電池溝を本体の電池溝に合わせ、留め具が引っかかるまで押し下げます。



2. 取外し : 電池ボックスのプッシュを押しながら電池溝から出るように電池を上に押すと、取り外すことができます。



電池残量

電池を正しく取り付けてからフラッシュライトに電力を供給することができます。電池残量表示ボタンを短押しし、電池残量表示灯が点灯したら現在の電池残量を表示できます。具体的には下の表をご参照ください。

電池上の電池残量表示灯 （負荷がない場合の電池残量の指示と管理）	意義
1 赤 +3 緑	75% ~ 100%
1 赤 +2 緑	50% ~ 75%
1 赤 +1 緑	25% ~ 50%
1 赤	3% ~ 25%
2%の場合は、赤いライトが点滅し、 1%の場合は表示灯が点灯しません	<2% 電池残量がすぐになくなり、この状態ではフラッシュライトが機能できず、1 分前に警報を出し、3 分後に自動的にシャットダウンします。 注：この場合は直ちに (10 日以内) 充電してください。そうでなければ、使用又は保管することができません。

注 : 表示はほぼ一致していますが、段階が入れ替わるときに少し違います。

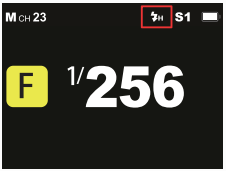
電池を有効にする説明

AD600ProII 電池のアップグレードにより、1 ヶ月以上電池を使用していない場合は、自動的にスリープ状態になります。1 ヶ月後に電池を使用する、又は電池を充電する場合は、電池を有効にしてください。
有効にする方法 : 電池残量表示ボタンの右側を短押しすると有効になります。

ϟH 高速同期

高速同期 (FP フラッシュ) を使用すると、すべてのシャッタースピードでフラッシュライトを同時に使用できます。高速同期モードは、絞りを使用して優先的に人物像の充填フラッシュに特に便利です。

1.MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、ダイヤルを回して高速同期を選択し、SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回してオン又はオフにすることができ、設定完了後、MENU ボタンを短押しして主画面に戻り、上方のステータスバーに (ϟH) が表示されます。



2.X1 シリーズ /XPro1 シリーズ /XPro2 シリーズ /X2T/X3 シリーズのフラッシュトリガーを使用してください

注:

- 設定したシャッタースピードがカメラの最大フラッシュ同期速度と等しいか遅い場合、ファインダには ϟH アイコンが表示されません。
- 高速同期を使用すると、シャッタースピードが高いほど、有効なフラッシュ範囲が小さくなります。
- 通常のフラッシュを復元するには、メニューバーに入って高速同期機能をオフにし、主画面の < ϟH > アイコンが消えます。
- 高速同期モードでは、ストロボフラッシュを設定できません。
- 64 回連続して高速同期フラッシュを行うと、フラッシュライトの熱保護機能が有効になる可能性があります。

M: 手動フラッシュ

フラッシュ出力は、1/512 から 1/1 のフルパワー間で 1/10 段階で設定できます。正しいフラッシュ露出を得るためには、手持ち式フラッシュ光測定器を使用して必要なフラッシュ出力を確認してください。MODE ボタンを押して画面に < **M** > を表示させ、ダイヤルを回してフラッシュ出力パワーを設定します。

フラッシュ出力の表示

撮影中にフラッシュ出力を変更すると、次の表に絞り値がどのように変更されたかがはっきりと表示されます。フラッシュ出力を増加又は減少させるときに絞り値の変更規則を表示できます。
時計回りにダイヤルを回してフラッシュ出力を増やし、逆時計回りにダイヤルを回してフラッシュ出力を減らします。

1/512	1/512（0.1~0.9）
1/256	1/256（0.1~0.9）
1/128	1/128（0.1~0.9）
1/64	1/64（0.1~0.9）
1/32	1/32（0.1~0.9）
1/16	1/16（0.1~0.9）
1/8	1/8（0.1~0.9）
1/4	1/4（0.1~0.9）
1/2	1/2（0.1~0.9）
1/1	（フルパワー）

S1 光制御ユニットの設定

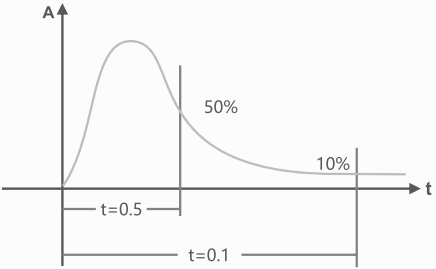
MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、ダイヤルを回して光制御フラッシュトリガーを選択し、SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回してオン・オフ /S1/S2 を選択でき、S1 を設定してから MENU ボタンを短押しすると、主画面に戻ります。
このとき、フラッシュライトはサブライトとしてさまざまな照明効果を演じることができ、手動フラッシュ環境に適します。メインフラッシュライトの最初のフラッシュと同期してフラッシュをトリガーし、その効果はワイヤレスフラッシュトリガーを使用する場合と同じです。

S2 光制御ユニットの設定

MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、ダイヤルを回して光制御フラッシュを選択し、SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回してオン・オフ /S1/S2 を選択でき、S2 を設定してから MENU ボタンを短押しすると、主画面に戻ります。
このとき、フラッシュライトはサブライトとして使用でき、TTL フラッシュ環境に適します。プリフラッシュ防止機能があり、1 回プリフラッシュ機能を備えたカメラを使用する場合は、光制御で同期撮影を実現することができます。メインフラッシュライトの 2 回目のフラッシュと同期してフラッシュをトリガーすることができ、すなわち、2 回光制御フラッシュです。
注 :1.S1/S2 光制御フラッシュモードは、M モードでのみ実現できます。

フラッシュ持続時間の表示

フラッシュ持続時間とは、フラッシュライトの発光から半ピークに到達するまでかかった時間のことです。半ピーク t=0.5。カメラマンにより詳細な撮影数値を提供するために、本製品は t=0.1 を採用しています。t=0.5 と t=0.1 の違いを下の図に示します。

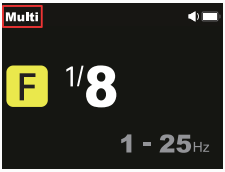


注 : フラッシュ持続時間は、M モードで高速同期をオフにしている場合にのみ表示されます。

Multi: ストロボフラッシュ

ストロボフラッシュを使用して、1 枚の写真に移動物体の複数の画像を撮影することができる一連の高速フラッシュを放出することができます。次の 3 つのステップでは、フラッシュ出力、フラッシュ回数とフラッシュ周波数 (1 秒あたりのフラッシュ回数、単位 Hz) を順に設定します。

1.MODE ボタンを押して画面に <**Multi**> を表示させ、ダイヤルを回してフラッシュ出力パワーを設定します。
2.SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回してフラッシュ回数を設定します。
3.SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回してフラッシュ周波数を設定します。



シャッタースピードの計算

ストロボフラッシュを行う際に、ストロボフラッシュが停止するまで、シャッターは開いた状態にしておく必要があります。次の式を使用してシャッタースピードを計算し、カメラで設定します。
フラッシュ回数 / フラッシュ周波数 = シャッタースピード
例：フラッシュ回数は 10、フラッシュ周波数は 5Hz の場合、シャッタースピードは少なくとも 2 秒です。

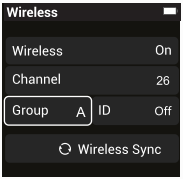
注：
- 反射が強い被写体は、暗い背景の前にストロボフラッシュを使用するとより効果的です。
- 三脚と TTL フラッシュトリガーの使用を推奨します。
- フラッシュ出力が 1/1 と 1/2 の場合はストロボを設定できません。
- ストロボフラッシュ時も「buLb」を使用できます。
- フラッシュ回数が -- と表示されている場合は、シャッターがオフになる、又は電力がなくなるまで連続的にフラッシュします。次の表に示すように、フラッシュ回数は制限されます。

最大連続ストロボフラッシュ回数

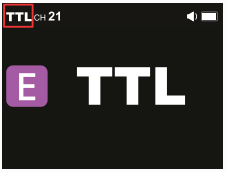
フラッシュ出力 \ Hz	1	2	3	4	5	6-7	8-9	10	11	12-14	15-19	20-50	60-100
1/4	7	6	5	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2
1/8	14	14	12	10	8	6	5	4	4	4	4	4	4
1/16	30	30	30	20	20	20	10	8	8	8	8	8	8
1/32	60	60	60	50	50	40	30	20	20	20	18	16	12
1/64	90	90	90	80	80	70	60	50	40	40	35	30	20
1/128	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40
1/256	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40
1/512	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40

TTL: 自動フラッシュ

TTL モードでは、カメラの測光システムが本体から反射してきたフラッシュ照明を検出し、それによりフラッシュ出力量を自動的に調整し、本体と背景を均等に露出させます。MENU ボタンを短押しし、メニューに入ってワイヤレス機能をオンにし、グループを A から E のいずれかに設定し、設定完了後、MENU を 2 回短押しして主画面に戻ります。



MODE ボタンを押して画面に <TTL> を表示させ、フラッシュライトを TTL モードにすることができます。



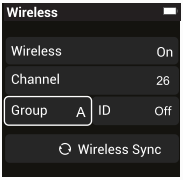
ワイヤレス (2.4G) 伝送

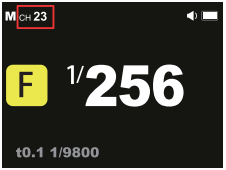
AD600ProII は 2.4G ワイヤレス X システムを使用しており、当社の他のモデルと完璧に組み合わせて使用することができます。スレーブユニットとして利用できるカメラは、キヤノン、ニコン、ソニー、オリンパス、パナソニック、富士、ペンタックス、ライカなどがあり、マスターユニットによって自動的に切り替えることができ、手動設定が不要です。

AD600ProII はスレーブユニットとして、ワイヤレス送信機能を備えるマスターユニットによる制御を受けることができ、その型番は以下の通りです。
XPROII シリーズ /X3 シリーズ /X2T シリーズ /V1Pro シリーズ /V1 シリーズ /V860III シリーズなど。

ワイヤレス設定

MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、ダイヤルを回してワイヤレスを選択し、SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回してワイヤレスオン・オフ / チャンネル / グループ / 識別番号 / ワイヤレス同期を選択でき、SET ボタンを短押ししてダイヤルを回すと、その中のいずれか一項を設定することができ、設定完了後、MENU ボタンを短押ししてメニューに戻り、もう一度 MENU ボタンを短押しして主画面に戻ります。





通信チャンネルの設定

撮影現場で複数のワイヤレスフラッシュシステムを使用している場合は、通信チャンネルを変更し、又は識別番号を設置することで信号干渉を防ぐことができますが、マスターユニットとスレーブユニットが同じチャンネルに設定されていることを保証する必要があります。

ワイヤレス	オン / オフ
チャンネル	1-32
グループ	0-9、A-F
識別番号	オフ、1-99
ワイヤレス同期	SET ボタンを短押ししてワイヤレス同期を行います

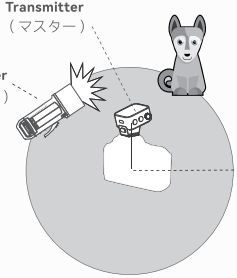
X3 フラッシュトリガーを例に取って使用方法を説明

1. カメラの電源を切り、フラッシュトリガーをカメラのホットシューのソケットに置き、フラッシュトリガーの電源スイッチとカメラ電源をオンにします。
2. フラッシュトリガー X3 の設定：画面を上から下にスライドさせて画面に < 設定 > を表示させ、< 設定 > をクリックしてカスタマイズメニューに入り、ワイヤレス設定をクリックしてチャンネル、識別番号の設定画面に入ります。画面を左から右にスライドすると主画面に戻ることができ、主画面でグループのフラッシュモードやフラッシュパワー階段値を設定することができます。
3. フラッシュライト AD600ProII の設定：MENU ボタンを短押ししてワイヤレスを選択し、ワイヤレス設定に入ってこの機能をオンにし、チャンネル、識別番号をフラッシュトリガーと一致するように設定します。
4. フラッシュトリガー上のワイヤレス同期をクリックし、フラッシュライトがワイヤレス同期を選択し、SET ボタンを短押しすると、両方のワイヤレスチャンネル、識別番号を同じ番号に設定できます。
5. カメラのシャッターを押すとフラッシュをトリガーできます。

ワイヤレスフラッシュ撮影

位置付けと操作範囲 (ワイヤレスフラッシュ撮影例)

● 1 つのスレーブユニットを使用した自動フラッシュ撮影

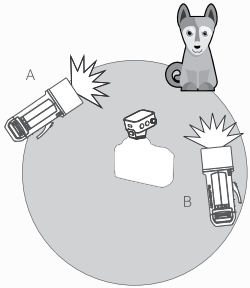


注:
1. 送信側としてワイヤレス送信機能付きのマスターユニットを使用します。
2. 撮影前にフラッシュ試験と撮影試験を行ってください。
3. 位置、周辺環境、天気などの影響を受けて、伝送距離が短くなる場合があります。
4. マスターユニットでスレーブフラッシュをオフ (OFF) に設定できます。

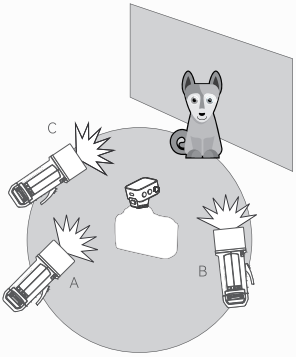
ワイヤレス多重フラッシュ撮影

スレーブユニットを 2 つ又は 3 つのグループに分割し、フラッシュ比（倍率）を変更しながら TTL 自動フラッシュ撮影を行うことができます。また、各フラッシュグループに対して異なるフラッシュモードを設定して撮影することができます。

● 2 つのスレーブグループを使用して自動フラッシュ撮影を行います。



● 3 つのスレーブグループを使用して自動フラッシュ撮影を行います。



フラッシュモード

MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、ダイヤルを回してフラッシュモードを選択し、SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回して標準 / 色温度 / フリーズを選択できます。

標準	標準フラッシュであり、主画面に指示がありません。
色温度	色温度一定をオンにすると主画面にアイコン（Ⓒ）が表示され、グループの表示灯が点滅し、ブザーをオンにした場合は 1 分間鳴ります。この時、フラッシュ試験ボタンを押して放電すると、正常に使用できます。M モードで高速同期をオフにした場合にのみでオンにすることができ、この機能を使用する場合、各段階の色温度ドリフトは ±100K 前後です。
フリーズ	フリーズモードをオンにすると主界面にアイコン（Ⓕ）が表示され、フラッシュ時間は標準モードより短く、パワーは標準モードよりも低く、M モードと Multi モードのみでオンにすることができます。

Godox2.4G ワイヤレスフラッシュ漏れの原因及び解策

1. 外部環境 2.4G 信号干渉（無線基地局、2.4Gwifi ルーティング、Bluetooth デバイスなど）
→フラッシュトリガーのチャンネル CH 設定を調整し (推奨 + 10)、干渉のないチャンネルを見つけ、又は他の 2.4G デバイスをオフにしてください。

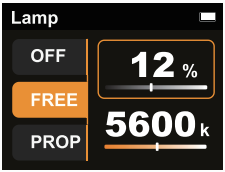
2. フラッシュライトがすでに充電され、又はその充電速度が連写速度に追従することができ、過熱保護又はその他の異常状態にないことを確認してください。
→フラッシュライトの段階値を下げてください。TTL モードの場合は M モードに変更してみてください（TTL モードでは事前に 1 回フラッシュする必要があります）。

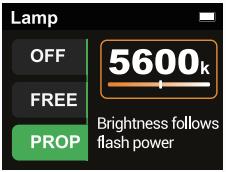
3. フラッシュトリガーとフラッシュライトとの距離が近すぎるか（距離 <0.5m）
→フラッシュトリガー上で「近距離ワイヤレスモード」をオンにしてください。
X1 シリーズ：フラッシュトリガーボタンを押し続け、インジケータが 2 回点滅するまで電源を入れます。
Xpro、X2T シリーズ :C.Fn-DIST を 0-30m に設定します。
X3 シリーズ：トリガー距離を 0-30m に設定します。

4. フラッシュトリガーおよび受信側のデバイスが低電力状態にあるかどうか
→フラッシュトリガーとフラッシュライトの電力量が十分であることを確保するために、電池を交換する、又は充電してください。

造形ライト

AD600ProII は 2 色の 40W 高出力 LED 造形ライトを装備しており、造形ライトのボタンを短押しして設定に入り、ダイヤルを回してオフ / オン / 追従を選択でき、SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回してそのいずれか一項を設定することができ、設定完了後、造形ライトのボタンを短押しして主画面に戻ります。





オフ	輝度 (1% 単位で増加する)	色温度 (100K 単位で増加する)
オン	輝度 :0%-100%	2800K-6000K
追従	フラッシュパワーに追従	2800K-6000K

カスタム機能

アイコン	機能	項目	説明
	ワイヤレス	オフ	ワイヤレス設定オフ
		オン	通信チャンネルの設定
	フラッシュモード	標準	標準フラッシュ
		色温度	M 非高速モードではオンにすることができます
		フリーズ	M モードと Multi モードでオンにすることができます
	光制御フラッシュ	オフ	光制御フラッシュオフ
		S1	M モードではオンにすることができます
		S2	
	高速同期	オフ	高速同期オフ
		オン	M モードではオンにすることができます
	造形ライト	フラッシュライト消灯	フラッシュライト充電消灯
		持続	常時点灯
	ブザー	オフ	ブザーオフ
		オン	ブザーオン
	パワー表示	1/512	機器フラッシュ段階は 1/256-1/1 で表示されます。
		1.0	非高速モードでは、フラッシュ段階は 1.0-10.0 と表示されます
	画面待機	30 秒	30 分以上で何らかの操作をしないと、自動的にスリープ状態になります
		1 分	1 分以上で何らかの操作をしないと、自動的にスリープ状態になります
		2 分	2 分以上で何らかの操作をしないと、自動的にスリープ状態になります
		3 分	3 分以上で何らかの操作をしないと、自動的にスリープ状態になります
	自動オフ	オフ	自動オフを無効にします
		30 分	30 分後に自動的にオフになります
		60 分	60 分後に自動的にオフになります
		90 分	90 分後に自動的にオフになります
		約 120 分	120 分後に自動的にオフになります
	画面の輝度	20%-100%	ダイヤルを回して輝度値を設定します
	フラッシュ遅延	オフ	フラッシュ遅延オフ
		0.01-30.0 秒	0.01 秒で増加する
	マスク	2 マスク	ダイヤルを回して設定します
		3 並べ替え	
		4 並べ替え	

	言語	中国語	画面の表示言語は簡体字中国語です
		English	画面の表示言語は English です
	工場出荷時設定に復元	はい	工場出荷時設定に復元
		いいえ	工場出荷時設定に復元をキャンセルします
	機器情報	オプションなし	現在の機器型番及びバージョン番号を表示します

同期ソケットトリガー

同期ソケットは Φ3.5mm であり、ここに同期ケーブル又はトリガープラグを挿入してフラッシュライトを同期フラッシュさせることができます。

保護機能

1. 熱保護

- フラッシュライトの口金の過熱による損傷を防ぐため、1/1 段階で 80 回以上の急速連続フラッシュを行わないでください。80 回フラッシュした後、少なくともフラッシュ
- 80 回以上の連続フラッシュを行った直後により多くのフラッシュを継続すると、内部の過熱防止機能が有効になり、充電時間が 10 秒以上になる可能性があります。このような状況が発生した場合は、フラッシュライトを 10 分冷却させると回復できます。
- 熱保護機能が有効になったら、ディスプレイにアイコン が表示されます。

熱保護機能が有効になる連続フラッシュ回数

パワー	回数
1/1	80
1/2（+0.7~+0.9）	105
1/2（+0.3~+0.6）	128
1/2（+0.0~+0.2）	160
1/4（+0.0~+0.9）	210
1/8（+0.0~+0.9）	320
1/16(+0.0 ~ +0.9)	425
1/32(+0.0 ~ +0.9)	530

パワー	回数
1/64(+0.0 ~ +0.9)	1060
1/128(+0.0 ~ +0.9)	
1/256(+0.0 ~ +0.9)	
1/512(+0.0 ~ +0.9)	

高速同期モードにおける熱保護機能が有効になる連続フラッシュ回数:

パワー	回数
1/1	64
1/2(+0.0 ~ +0.9)	70
1/4(+0.0 ~ +0.9)	90
1/8(+0.0 ~ +0.9)	115
1/16(+0.0 ~ +0.9)	140
1/32(+0.0 ~ +0.9)	180
1/64(+0.0 ~ +0.9)	210
1/128(+0.0 ~ +0.9)	235
1/256(+0.0 ~ +0.9)	255

2. その他の保護

設備の安全な動作を保証するために、システムは常に予防保護を行い、以下の注意記号を参考にしてください。

画面表示	警告内容
Error1	フラッシュライトの充電システムに問題が発生し、充電してフラッシュをトリガーすることができない場合は再起動してください。解決できない場合は修理してください。
Error3	フラッシュランプ両端の電圧が高すぎ、修理してください。
Error9	ファームウェアアップデートエラー、正しく行ってください。

仕様

型番	AD600ProII
ワイヤレススレーブユニットモード	ワイヤレスモード (キヤノン E-TTLII、ニコン i-TTL、ソニー、オリンパス、パナソニック、富士などを使用できる)
フラッシュモード	ワイヤレスオフ：M/Multi
	ワイヤレススレーブモード：TTL/M/Multi
フラッシュ指数 (1/1 段階)	87(ISO100、単位 m、高効率リフレクターを使用)
フラッシュ持続時間 (t=0.1)	標準：1/220 秒 ~1/11760 秒
	色温度：1/220 秒 ~1/7400 秒
	フリーズ：1/2570 秒 ~1/20400 秒
パワー (1/1 段階)	600Ws
階段値	10 級 :1/512~1/1(各階段は 0.1 単位で微調整)
ストロボフラッシュ	(回数：100 回、周波数：100Hz)
同期方式	高速同期 (最大 1/8000 秒)、フロントカーテン同期、リアカーテン同期
フラッシュトリガー遅延	0.01~30 秒
マスク	√
ファン	√
ブザー	√
フラッシュ持続時間の表示	√
光制御フラッシュ	S1/S2/OFF
表示	カラースクリーン
造形ライト	
最大入力パワー	40W
輝度調整範囲	輝度 :0%~100%
CRI	平均≥ 97
TLCI	平均≥ 98
CCT	2800K~6000K
ワイヤレスフラッシュ (2.4G ワイヤレス機能)	
ワイヤレス機能	スレーブユニット / オフ
制御できるスレーブユニットグループ	16 グループ：0-9、A-F
伝送距離	約 100m
チャンネル	32 グループ：1-32
ID 識別番号	01-99/OFF

電源	
電源	リチウム電池 (28.8V/2600mAh)
フルパワーフラッシュ回数	360 回
充電時間	約 0.01~0.9 秒
電池残量表示灯	√
省エネ	フラッシュライトは、30 分 ~ 120 分操作しないと、自動的に電源を切るように設定できます
同期トリガー方式	3.5mm 同期ケーブル
フラッシュチューブ色温度	5800±200K
尺寸和重量	
寸法 (電池を含む、ランプとリフレクターを除く)	≈ 250×245×125mm
正味重量 (電池を含む、ランプとリフレクターを除く)	≈ 3kg

ファームウェアアップデート

- この機器は USB-C ポートを通じてファームウェアのアップデートを行うことができ、ソフトウェアの最新公告と説明は公式サイトに発表されます。
- この製品は USB アップデートケーブルを同梱していません。別途購入してください。本製品の USB ポートは USB-C ポートであり、USB-C ケーブルを使用してください。
- 製品のファームウェアアップデートには Godox G3 プログラムソフトウェアが必要です。ファームウェアをアップデートする前に Godox 公式サイトで「Godox G3 ファームウェアアップデートソフトウェア」をダウンロードしてインストールし、適切なファームウェアファイルを選択してください。
- 製品のファームウェアアップデートのため、説明書は最新の電子版をご参照ください。

メンテナンス

- フラッシュライトの動作中に異常が発生した場合は、すぐに電源を切って原因を究明してください。
- ライト本体は振動を避け、表面にほこりがないように注意してください。
- ライト本体のやや発熱は正常であり、特に必要がない場合は、連続フラッシュを行わないでください。
- フラッシュライトに関連するすべての修理は、当社が指定された純正部品を供給できる修理部門によって行います。
- 保証期間は１年です、ランプなどの消耗品は１年保証対象外です。
- このフラッシュライトを無断で修理していることが判明された場合、フラッシュライトの１年保証期間をキャンセルし、かかる修理費用を請求します。
- 本製品が故障したり、水に濡れたりした場合は、専門者によって修理してから使用してください。
- 技術に関連する変更は、予告なしに行う場合があります。

Sicherheitstipps zum Handbuch

Wichtiger Sicherheitstipp:

Dieses Produkt gehört zu professionellen Fotogeräten und benötigt professionelles Personal, um es zu bedienen und zu benutzen.
Beim Einsatz sind folgende grundlegende Sicherheitsvorkehrungen zu beachten:
Alle Transportschutzmaterialien und Verpackungen am Produkt müssen vor Gebrauch entfernt werden.

1.Bevor Sie dieses Produkt verwenden, lesen Sie bitte das Produkthandbuch sorgfältig und vollständig durch. Befolgen Sie strikt die Sicherheitshinweise im Handbuch. Andernfalls kann es zu Tod, schweren Verletzungen, Produktschäden oder anderen Sachschäden kommen.
2.Es liegt eine hohe Spannung an, wenn der Blitz funktioniert. Die interne Kapazität des Geräts wird nach dem Herunterfahren für eine gewisse Zeit weiter aufgeladen.
3.Dieses Produkt ist eine professionelle Lampe, Kinder dürfen es nicht benutzen. Wenn sich Kinder in der Nähe befinden, müssen Erwachsene genau beaufsichtigen, um zu verhindern, dass Kinder mit Leuchten zusammenprallen oder diese unbefugt benutzen und Personen verletzen.
4.Diese Leuchte ist keine gewöhnliche Lampe und darf nicht für die Allgemeinbeleuchtung verwendet werden. Personen mit Augenbeschwerden oder empfindlichen Augen sollten diese Leuchte nicht benutzen oder direkt in sie hineinschauen.
5.Bei der Verwendung ist Vorsicht geboten. Der Kontakt mit Hochtemperaturkomponenten wie Blitzröhren ist strengstens untersagt, um Verbrennungen zu vermeiden.
6.Unter keinen Umständen ist es verboten, das Blitzlicht direkt auf das menschliche Auge (insbesondere auf die Augen von Säuglingen) zu richten, da dies sonst in kurzer Zeit zu Sehstörungen führen kann. Wenn Sie sich unwohl fühlen, sollten Sie sofort das Licht ausschalten, die Verwendung einstellen und rechtzeitig einen Arzt aufsuchen.
7.Wenn die Blitzröhre beschädigt ist, sollte sie sofort gestoppt werden. Der Hersteller, der Kundendienst oder qualifiziertes Wartungspersonal sollten rechtzeitig kontaktiert werden, um sie im Falle eines Unfalls auszutauschen.
8.Es ist strengstens verboten, beschädigte Geräte oder Zubehörteile zu verwenden. Sie müssen warten, bis professionelles Wartungspersonal überprüft und bestätigt hat, dass das Gerät normal ist, bevor Sie es weiter verwenden.
9.Bevor Sie die Lichtröhre, das Schutzglas oder die Sicherung austauschen, müssen Sie die Stromversorgung trennen oder die Batterie (falls vorhanden) entfernen, um sicherzustellen, dass die Lampe vollständig von der Stromversorgung getrennt ist. Lassen Sie die Lampe 10 Minuten abkühlen, bevor Sie sie austauschen. Tragen Sie während des Betriebs isolierte/oder isolierte Handschuhe.
10.Das Produkt muss ausgeschaltet sein, wenn der Lampenstecker herausgezogen ist. Es muss überprüft werden, ob es vollständig klemmt, wenn der Stecker eingesteckt ist.
11.Wenn das Produkt während des Gebrauchs durch Fallenlassen, Quetschen oder starke Stöße zerbricht, muss es sofort ausgeschaltet werden, um Verletzungen durch Stromschlag durch Kontakt mit internen elektronischen Bauteilen zu vermeiden.
12.Einige Produkte haben lange Netzkabel. Bitte platzieren Sie sie richtig, um den Kontakt mit Wärmequellen zu vermeiden oder andere auszulösen. Es wird empfohlen, das Original-Netzkabel zu verwenden. Schäden, die durch nicht originale Leitungen verursacht werden, fallen nicht unter die Garantie.
13.Ziehen Sie vor der Reinigung und Reparatur den Netzstecker aus der Steckdose. Ziehen Sie das Netzkabel nicht gewaltsam, der richtige Weg ist, den Stecker mit beiden Händen zu ziehen.
14.Dieses Gerät ist nicht wasserdicht, bitte trocken halten, nicht in Wasser oder andere Flüssigkeiten

eintauchen. Es sollte an einem belüfteten und trockenen Ort installiert werden, um den Einsatz in regnerischer, feuchter, staubiger oder überhitzter Umgebung zu vermeiden. Stellen Sie keine Gegenstände auf das Gerät und lassen Sie keine Flüssigkeiten hineinfließen, um Gefahren zu vermeiden.
15.Zerlegen Sie dieses Produkt nicht ohne Genehmigung. Wenn das Produkt ausfällt, muss es vom Unternehmen oder autorisiertem Wartungspersonal inspiziert und repariert werden.
16.Stellen Sie vor dem Lagern des Geräts sicher, dass das Gerät vollständig gekühlt ist, und ziehen Sie das Netzkabel ab. Legen Sie es in das Gerätepaket oder an einen belüfteten und trockenen Ort.
17.Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von brennbaren flüchtigen Lösungsmitteln wie Alkohol, Benzin oder Gasen wie Methan, Ethan usw. auf.
18.Es ist verboten, dieses Gerät in explosionsgefährdeter Umgebung zu verwenden oder zu lagern.
19.Während und nach dem Betrieb muss der Abstand zwischen der Lampenfassung des Geräts und dem Benutzer und und anderen Personen sowie wärmeempfindlichen oder brennbaren Gegenständen immer mindestens 1 Meter betragen.
20.Es ist strengstens verboten, den Kühlkörper des Geräts abzudecken!
21.Verwenden Sie kein Zubehör, das nicht vom Unternehmen genehmigt wurde, um Feuer, Stromschlag oder Personenschäden zu vermeiden.
22.Wenn Sie das Gerät reinigen, wischen Sie es vorsichtig mit einem trockenen, weichen Tuch ab. Verwenden Sie kein feuchtes Tuch, da es sonst das Gerät beschädigen kann.
23.Einige Produkte sind mit Schutzhüllen ausgestattet, die vor Gebrauch entfernt werden müssen.
24.Dieses Handbuch basiert auf strengen Tests und das Design. Die Spezifikationen können ohne vorherige Ankündigung geändert werden. Sie können die neuesten elektronischen Anweisungen auf unserer offiziellen Webseite für die neuesten Produktinformationen überprüfen.
25.Einige Produkte verfügen über eingebaute Lithiumbatterien, die mit einem speziellen Ladegerät aufgeladen und innerhalb des angegebenen Spannungs- und Temperaturbereichs gemäß der entsprechenden Bedienungsanleitung verwendet werden müssen.
26.Das Produkt wird mit Lithiumbatterien betrieben. Diese Art von Lithium-Ionen-Batterie hat eine begrenzte Lebensdauer und verliert allmählich ihre Speicherkapazität, die irreversibel ist. Die Produktlebensdauer verkürzt sich, wenn die Batterie altert. Die Lebensdauer von Lithium-Ionen-Batterien wird voraussichtlich 2-3 Jahre betragen. Bitte überprüfen Sie die Batterie regelmäßig. Erwägen Sie, ihn auszutauschen, wenn die Ladezeit erheblich verlängert oder die Akkulaufzeit erheblich verkürzt wird.
27.Das Produkt ist mit einer Lithiumbatterie ausgestattet. Für die folgende Lagerungsempfehlungen gelten: Batterie vor der Lagerung auf ca. 50 % laden und entladen; Batterie mindestens alle 6 Monate auf ca. 50 % laden; Ersatzbatterie separat lagern; Lagertemperatur zwischen 0 °C und 40 °C.
Das Produkt wird mit Lithiumbatterien betrieben. Bitte beachten Sie Folgendes:

- Zerlegen, zerquetschen oder durchbohren Sie die Batterie nicht;
- Vermeiden Sie einen Kurzschluss der Batteriekontakte;
- Entsorgen Sie Batterien nicht in Feuer oder Wasser;
- Setzen Sie Batterien keinen Temperaturen über 60 °C aus;
- Bewahren Sie Batterien außerhalb der Reichweite von Kindern auf;
- Schützen Sie Batterien vor übermäßigen Stößen oder Vibrationen;
- Verwenden Sie keine beschädigten Batterien;
- Wenn die Batterie ausläuft, vermeiden Sie den Kontakt mit der auslaufenden Flüssigkeit;
- Wenn das Auge mit der Batterieflüssigkeit in Berührung kommt, sofort mindestens 15 Minuten lang mit Wasser ausspülen und die Augenlider anheben, bis keine Flüssigkeit mehr vorhanden ist.

29.Bevor Sie mit Batterien umgehen, bestätigen Sie bitte die einschlägigen lokalen Gesetze und Vorschriften und halten Sie sie ein.
30.Die Garantiezeit für dieses Gerät beträgt ein Jahr. Verbrauchsmaterialien (wie Batterien), Adapter, Netzkabel und anderes Zubehör fallen nicht unter die Garantie.
31.Nicht autorisierte Reparaturen disqualifizieren die Garantie und die Reparaturkosten werden in Rechnung gestellt.
32.Bitte überprüfen Sie bei Erhalt der Lithiumbatterie den Batteriestatus und die Stromversorgung. Bei Qualitätsproblemen wenden Sie sich bitte innerhalb der Garantiezeit an einen autorisierten Godox-Händler.
33.Fehler, die durch unsachgemäßen Betrieb verursacht werden, fallen nicht unter die Garantie.

Inhaltsverzeichnis

Vorwort	34
Hauptmerkmale	34
Warnung	35
Teilebezeichnung	36
Stückliste	37
Zusätzliches erhältbares Zubehör	38
Reflektorabdeckung/Leuchtröhre des Blitzlichts ein-/ausbauen	38
Blitzwinkel einstellen	39
Ein/Ausschalten	40
Display	40
Batteriehinweise	41
Hochgeschwindigkeitssynchronisation	43
M: manuelles Blitzen	44
Multi Stroboskop	46
TTL: Automatisches Blitzen	48
Funkübertragung (2,4G)	48
Blitzmodus	51
Ursachen und Lösungen fürs Auslassen beim drahtlosen Blitzen bei Godox 2,4G	51
Stylingleuchte	52
Benutzerdefinierte Funktionen	53
Auslösen durch Synchronbuchse	54
Schutzfunktionen	54
Technische Daten	56
Firmware-Aktualisierung	57
Wartung und Pflege	57

Vorwort

Das integrierte Outdoor Blitzgerät AD600Pro II ist ein kabelloses TTL Blitzgerät mit hoher Leistung, abnehmbarer Lithium-Batterie und einfachem Transport. Es nutzt das integrierte Godox 2.4G Wireless X System und kann mit Blitzauslösern der XPro, XPro II, X2T und X3 Serie verwendet werden, um das AD600Pro II Blitzgerät im M / Multi / TTL Modus fernzusteuern. Gleichzeitig kann er auch in Kombination mit Godox Aufsteckblitzlichten, externen Blitzen und Studioblitzen mit Master-Slave-Funktion verwendet werden. Mit dem Blitzlicht AD600Pro II wird das Fotografieren für Sie viel einfacher. Bei komplexen Lichtwechseln kann automatisch eine genaue Blitzbelichtung erzielt werden. Die Aufnahme ist somit leicht und bequem.
Das Blitzgerät AD600Pro II verfügt über eine hohe Leistung und eine große Batteriekapazität. Es unterstützt eine hohe Geschwindigkeit während des gesamten Prozesses. Eine einzelne Lampe kann Sonnenlicht ausblenden. Die freiliegende Leuchtstoffröhre und die hocheffiziente Reflektorabdeckung sorgen für eine gute Lichtqualität bei Außen- und Realaufnahmen. Der AD600Pro II ist ein absoluter Spitzenblitz, der sich sowohl durch seine Portabilität als auch durch seine hohe Lichtqualität auszeichnet. Er ist die ideale Lichtquelle für freiberufliche Werbefotografen, Journalisten, Hobbyfotografen, Hochzeitsfotografen, etc.

Hauptmerkmale

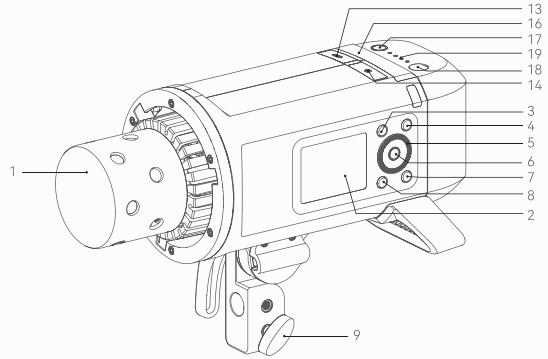
- **Schnelle Wiederbereitschaft:** 0,01-0,9 Sek.(Maximale Leistung).
- **Konstante Farbtemperatur:** Mit dieser Funktion beträgt die Farbtemperaturdrift der Gänge während des gesamten Prozesses etwa ± 100 K
- **LED-Stylingleuchte:** Zweifarbiges 40W-LED-Stylingleuchte hoher Leistung, mit frei eingestellbarer Helligkeit und Farbtemperatur.
- **Studiolichtqualität:** Leistung bis zu 600 WS, Blitzindex GN87 (m ISO 100, Hochleistungsreflektor verwenden), 360 Blitze bei voller Leistung, Unterstützung der Hochgeschwindigkeitssynchronisation von 1/8000 Sekunde.
- **Präzises Dimmen:** Leistungseinstellung von 1/512 bis 1/1, präzise Feinabstimmung in Schritten von 0,1 unter jedem Gang und mehr Kontrolle über die Lichteffekte.
- **Voll kompatibel:** Es unterstützt das M / Multi-Blitzsystem und das drahtlose TTL-System von Canon, Nikon, Fujifilm, Olympus, Sony, Leica, Pentax und anderen Kameras. Es ist voll kompatibel und kann als Slave-Einheit für drahtlose Blitzsysteme mit mehreren Leuchten verwendet werden.
- **Drahtlose Steuerung:** Eingebautes drahtloses 2,4G X-System, Shenniu-Blitzauslöser wird separat erworben, um eine Fernbedienung zu erreichen, während eine 3,5mm-Synchronisationsbuchse verbleibt, die eine Vielzahl von Synchronisationsauslösemethoden realisieren kann.
- **Visuelle Anzeige:** Jede Gruppe .der Gruppenanzeigeleuchten hat eine eigene Farbe, und die 16 Farben ermöglichen es, die aktuelle Gruppe beim Umschalten zu erkennen, ohne auf den Bildschirm schauen zu müssen, wenn man sich außerhalb des Geräts befindet.
- **Tragbar beim Betrieb:** Eingebetteter 2,8Zoll-Farbbildschirm, ausgestattet mit Rollrad, stufenlose Einstellung möglich, der Spleißkörper ermöglicht Klassifizierung und Aufbewahrung von Leuchtröhren und Batterien.
- **Komplettes Zubehör:** Es verwendet das Bajonett, das eine breite Palette von Anwendungen bietet. Es kann mit einer Vielzahl von Lichteffektzubehörteilen verwendet werden, die reichhaltig und praktisch sind.

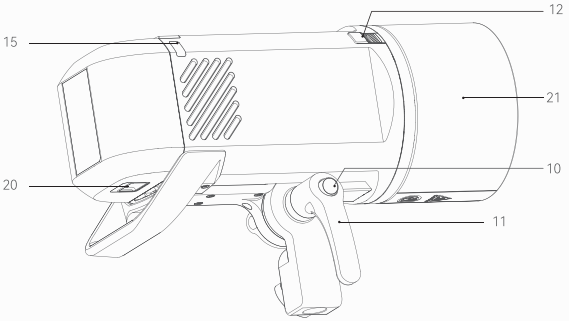
Warnung

- ⚠ Bitte halten Sie das Produkt trocken.
- ⚠ Zerlegen Sie das Produkt nicht unbefugt. Wenn das Produkt ausfällt, muss es vom Unternehmen oder autorisiertem Wartungspersonal inspiziert und repariert werden.
- ⚠ Zerlegen, Stoßen, Quetschen oder Werfen ins Feuer sind verboten und verwenden Sie es nicht weiter, wenn starke Ausbauchungen auftreten.
- ⚠ Stellen Sie das Produkt nicht in einer Umgebung mit hohen Temperaturen von mehr als 50 Grad Celsius auf.
- ⚠ Blinken Sie die Lampenfassung nicht direkt auf das menschliche Auge (insbesondere nicht auf die Augen des Babys), da dies für kurze Zeit zu Sehstörungen führen kann.
- ⚠ Verwenden Sie Blitzgeräte nicht in der Nähe von Chemikalien, brennbaren Gasen oder anderen besonderen Stoffen, die auf Blitzgeräte empfindlich reagieren und Feuer oder elektromagnetische Störungen verursachen können. Achten Sie in diesen Fällen auf die zugehörigen Warnschilder.
- ⚠ Dieses Produkt ist nicht wasserdicht. Bitte seien Sie an Regentagen und in feuchter Umgebung wasserdicht.
- ⚠ Bitte entfernen Sie die Schutzabdeckung der Lampenfassung, bevor Sie dieses Produkt verwenden.

Teilebezeichnung

Körper



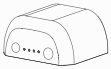


1. Blitzröhre
2. Farbdisplay
7. MENÜ-Taste
4. MODE-Taste
5. Einstellwählscheibe
6. SET-Taste
7. Schalter/Testblitztaste
8. Stylingleuchtentaste
9. Verriegelungsknopf der Lampenhalterung
10. Griffbefestigung
11. Griff
12. Bajonettsklemme
13. USB-C-Schnittstelle für Upgrade
14. 3,5mm-Synchronbuchse
15. Gruppenanzeigeleuchte × 2
16. Lichtsteuerungsempfänger
17. Batteriestandsanzeigetaste
18. Batterieladeöffnung
19. Batterieleistungsanzeigeleuchte
20. Schiebestück des Batteriekastens
21. Reflektorabdeckung für Schirm

Stückliste

Leuchtkörper × 1

Leuchtröhre × 1



Batterie × 1

Ladegerät × 1

Netzkabel × 1

Schutzdeckel für Schirmabdeckung × 1

Reflektorabdeckung für Schirm × 1

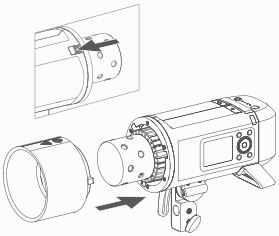
Anleitung × 1

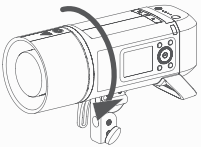
Zusätzliches erhältbares Zubehör

Lampenfassung: H600P tragbare Lampenfassung
Stromversorgung: AC26 Wechselstromversorgung, UC46USB Ladegerät.
Blitzauslöser: Serien XPro, XPro II, X2T und X3.
Lichteffektzubehör: Schirmförmige Softbox mit Schnellöffnung, Softbox wie kugelförmige Laterne, schnellinstallierbare parabolische Softbox, Radom, faltbarer Softschirm, Strahlrohr und Lichtstativ usw.

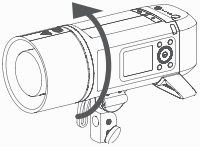
Reflektorabdeckung/Leuchtröhre des Blitzlichts ein-/ausbauen

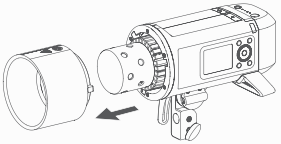
Reflektorabdeckung einbauen: Richten Sie die Reflektorabdeckung am Bajonett aus und setzen Sie ihn ein. Halten Sie sie gedrückt und drehen Sie sie im Uhrzeigersinn. Die Bajonettklemme wird automatisch verriegelt.



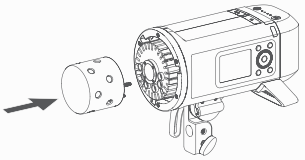


Reflektorabdeckung abbauen: Drücken Sie die Bajonettklemme. Drehen Sie dann die Reflektorabdeckung gegen den Uhrzeigersinn, um sie zu entriegeln.

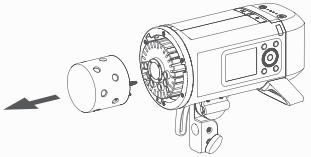




Leuchtröhre einbauen: Halten Sie die Bajonettklemme gedrückt. Entfernen Sie die Reflektorabdeckung oder anderes Zubehör. Richten Sie dann die Leuchtröhre des Blitzlichts auf die Lampenfassung aus und setzen Sie sie ein.



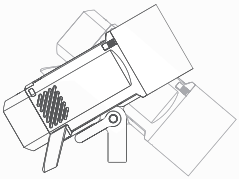
Leuchtröhre abbauen: Halten Sie die Bajonettklemme gedrückt. Entfernen Sie die Reflektorabdeckung oder anderes Zubehör. Halten Sie dann die Leuchtröhre des Blitzlichts fest und ziehen Sie sie parallel heraus.



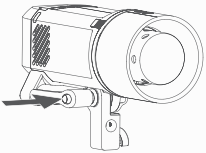
Hinweis: Tragen Sie immer Handschuhe, um die Sicherheit beim Ein- und Ausbau von Blitzröhren zu gewährleisten.

Blitzwinkel einstellen

1. Wenn die Griffbefestigung nicht herausgezogen ist, drehen Sie den Griff gegen den Uhrzeigersinn, um ihn zu entriegeln. Nachdem Sie den für das Gerät erforderlichen Winkel eingestellt haben, drehen Sie den Griff im Uhrzeigersinn, um ihn zu verriegeln und zu fixieren.



2. Wenn Sie beim Drehen des Griffs das Hindernis der Lampenfassung berühren, können Sie die Griffbefestigung gedrückt halten, um den Griff herauszuziehen, den Abstand zu vergrößern und die obige Bedienung 1 fortzusetzen.



Ein-/Ausschalten

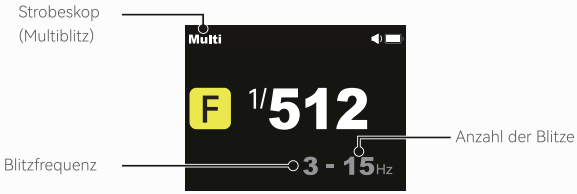
1. Halten Sie die Schaltertaste gedrückt und das Entsperrsymbol ( ) erscheint auf dem Bildschirm. Drehen Sie dann den Einstellknopf im Uhrzeigersinn, um ihn einzuschalten.
2. Halten Sie die Schaltertaste gedrückt und schalten Sie den Bildschirm aus.

Hinweis: Bitte schalten Sie das Gerät aus, wenn es längere Zeit nicht benutzt wird. Dieses Produkt verfügt über eine automatische Abschaltfunktion. Sie finden die automatische Abschaltfunktion in der Menüleiste, um sie einzustellen.

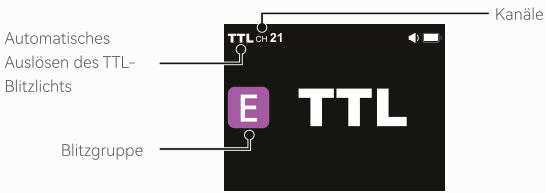
Display

(1) M Manuelles Blinken

(2) Multi Stroboskop



(3) TTL Automatisches Auslösen



Batteriehinweise

Eigenschaften

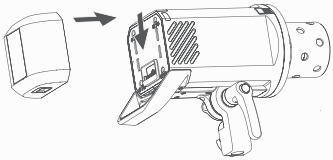
1. Dieses Produkt verwendet Lithiumbatterien, die 300-maliges wiederholtes Aufladen und Entladen unterstützen und eine lange Lebensdauer haben.
2. Der eingebaute Stromkreis ist sicher und zuverlässig und verfügt über einen Überladungsschutz, einen Überentladungsschutz, einen Überstromschutz und einen Kurzschlussschutz.
3. Mit dem Standardbatterieladegerät dauert die Ladezeit von schwacher Batterie bis voller Batterie nur etwa 2 Stunden.

Hinweise

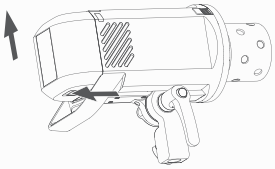
- ⚠ Vermeiden Sie positive und negative Kurzschlüsse.
- ⚠ Die Batterie ist nicht wasserdicht, tauchen Sie sie nicht in Nebel oder Wasser;
- ⚠ Die Batterie ist außerhalb der Reichweite von Kindern aufzubewahren.
- ⚠ Lassen Sie die Batterien nicht länger als 24 Stunden aufgeladen.
- ⚠ Batterien sollten an einem kühlen, trockenen und belüfteten Ort aufbewahrt werden.
- ⚠ Legen Sie Batterien nicht in die Nähe und in das Feuer;
- ⚠ Entsorgen Sie Batterien nach dem Verschrotten gemäß den örtlichen Vorschriften.
- ⚠ Wenn die Batterie länger als 3 Monate nicht verwendet wird, laden Sie sie bitte vollständig auf.

Batterie ein-/ausbauen

1. Einbau: Richten Sie den Batteriesteckplatz auf den Hauptbatteriesteckplatz aus und drücken Sie ihn nach unten, bis das Verschlusselement festsitzt.



2. Abbau: Halten Sie die Batteriekastenklemme gedrückt, während Sie die Batterie nach oben aus dem Batteriesteckplatz schieben, und Sie können sie entfernen.



Akkuleistung

Nachdem die Batterie richtig eingelegt ist, können Sie das Blitzlicht mit Strom versorgen. Drücken Sie einfach die Akkuleistungsanzeigetaste. Nachdem die Akkuleistungsanzeige aufleuchtet, können Sie die aktuelle Akkuleistung anzeigen. Einzelheiten entnehmen Sie bitte der nachstehenden Tabelle.

Anzeigeleuchte der Akkuleistung an der Batterie (Anzeige und Verwaltung der Batterieleistung ohne Last)	Bedeutungen
1 rot + 3 grün	75%~100%
1 rot + 2 grün	50%~75%
1 rot + 1 grün	25%~50%
1 rot	3%~25%
2% rote Leuchte blinkt, 1% Kontrollleuchte leuchtet nicht auf	<2% der Batterie ist fast leer. Dieser Zustand unterstützt keinen Betrieb des Blitzlichts. Der Alarm wird eine Minute vorher ausgelöst und schaltet sich nach 3 Minuten automatisch aus. Anm.: Bitte laden Sie die Batterie bei diesem Status so schnell wie möglich (innerhalb von 10 Tagen) vor der Verwendung oder Lagerung auf.

Hinweis: Die Anzeige ist im Allgemeinen die gleiche, aber es wird einige Unterschiede geben, wenn die Gänge abwechselnd sind.

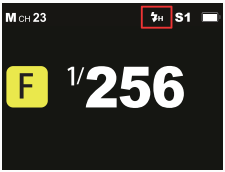
Anweisungen zur Aktivierung der Batterie

Aufgrund des Upgrades der AD600Pro II-Batterie wird sie automatisch in den Ruhezustand versetzt, wenn Sie die Batterie länger als einen Monat nicht benutzt haben. Wenn Sie die Batterie nach einem Monat wieder verwenden oder aufladen, versuchen Sie bitte, die Batterie zu aktivieren.
Aktivierungsmethode: Drücken Sie einfach auf die rechte Seite der Batterieanzeige, um die Batterie zu aktivieren.
Aktivierungsmethode: Drücken Sie einfach die rechte Seite der Batterieleistungsanzeigetaste, um sie zu aktivieren.

Hochgeschwindigkeitssynchronisation

Mit der Hochgeschwindigkeitssynchronisation (FP-Blitz) können Sie den Blitz synchron bei aller Verschlusszeit verwenden. Im HSS-Modus ist es besonders praktisch, die Blende zu verwenden, um zuerst das Porträt beim Blitzen nachzufüllen.

1. Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um das Menü aufzurufen. Drehen Sie das Wahlrad, um die HSS auszuwählen. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um ihn selektiv ein- oder auszuschalten. Drücken Sie nach der Einstellung kurz die MENU-Taste, um zur Hauptschnittstelle zurückzukehren. Die obere Statusleiste ist (ϟH) zu sehen.



2.^Bitte verwenden Sie den Blitzauslöser der X1-Serie / XPro I-Serie / XPro II-Serie / X2T / X3-Serie

Hinweis:

- Wenn die Verschlusszeit gleich oder langsamer als die maximale Blitzsynchronisierungsgeschwindigkeit der Kamera eingestellt ist, wird < ϟH > nicht im Sucher angezeigt.
- Bei der Hochgeschwindigkeitssynchronisation gilt: Je höher die Verschlusszeit, desto kleiner die effektive Blitzreichweite.
- Um den normalen Blitz wiederherzustellen, gehen Sie in die Menüleiste, um die HSS-Funktion auszuschalten. Das Symbol < ϟH > im Hauptbildschirm verschwindet.
- Im Modus HSS kann der Stroboskop nicht eingestellt werden.
- Nach 64 aufeinanderfolgenden Hochgeschwindigkeitssynchronisationen kann die Wärmeschutzfunktion des Blitzes aktiviert werden.

M: manuelles Blitzen

Sie können die Blitzleistung im Gang von 0,1 zwischen 1/512 Leistung und 1/1 voller Leistung einstellen. Um die richtige Blitzbelichtung zu erhalten, verwenden Sie ein tragbares Blitzmessgerät, um die gewünschte Blitzleistung zu bestimmen. Drücken Sie kurz die MODE-Taste, damit der Bildschirm < M > anzeigt. Drehen Sie dann das Wahlrad, um die Blitzleistung einzustellen.

Blitzausgang anzeigen

Wenn die Blitzleistung während der Aufnahme geändert wird, zeigt die folgende Tabelle deutlich, wie der Blendenwert geändert wird. Sie können das Änderungsgesetz des Blendenwerts überprüfen, wenn Sie die Lichtleistung erhöhen oder verringern.
Drehen Sie das Wahlrad im Uhrzeigersinn, um die Blitzleistung zu erhöhen, und gegen den Uhrzeigersinn, um die Blitzleistung zu verringern.

1/512	1/512（0.1~0.9）
1/256	1/256（0.1~0.9）
1/128	1/128（0.1~0.9）
1/64	1/64（0.1~0.9）
1/32	1/32（0.1~0.9）
1/16	1/16（0.1~0.9）
1/8	1/8（0.1~0.9）
1/4	1/4（0.1~0.9）
1/2	1/2（0.1~0.9）
1/1	(volle Leistung)

S1 Lichtsteuereinheit einstellen

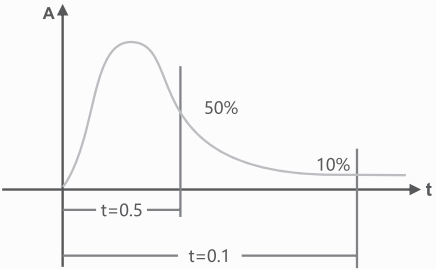
Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um das Menü aufzurufen. Drehen Sie das Wahlrad, um den Blitzauslöser der Lichtsteuerung auszuwählen. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um unter AUS/S1/S2 zu wählen. Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um nach der Einstellung S1 zur Hauptschnittstelle zurückzukehren.
An dieser Stelle kann der Blitz als Zusatzlicht verwendet werden, um eine Vielzahl von Lichteffekten zu erzeugen, die für manuelle Blitzumgebungen geeignet sind. Es löst den Blitz mit der ersten Blitzsynchronisation des Hauptblitzes aus. Der Effekt ist konsistent mit der Verwendung eines drahtlosen Blitzes.

S2 Lichtsteuereinheit einstellen

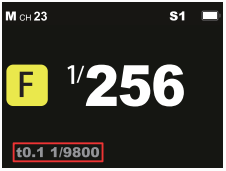
Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um das Menü aufzurufen . Drehen Sie das Wahlrad, um den Blitzauslöser der Lichtsteuerung auszuwählen. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um unter AUS/S1/S2 zu wählen. Drücken Sie dann kurz die MENU-Taste, um nach der Einstellung S2 zur Hauptschnittstelle zurückzukehren.
Der Blitz kann nun als Zusatzlicht für TTL-Blitzumgebungen verwendet werden. Mit der Anti-Vorblitzfunktion kann mit der Lichtsteuerung über die Kamera mit Vorblitzfunktion eine synchrone Aufnahme erreicht werden. Es löst den Blitz synchron mit dem zweiten Blitz des Hauptblitzes aus, dh 2 lichtgesteuerte Blitze.
Anm.: S1/S2 lichtgesteuertes Blitzauslösen wird nur im M-Modus unterstützt.

Blitzdauer anzeigen

Die Blitzdauer ist die Zeitspanne vom Beginn des Blitzes bis zur Halbspitze des Blitzes. Die Halbspitze wird als t = 0,5 ausgedrückt. Um dem Fotografen detailliertere Aufnahmewerte zu liefern, verwendet dieses Produkt t = 0,1. Die folgende Abbildung zeigt den Unterschied zwischen t = 0,5 und t = 0,1.



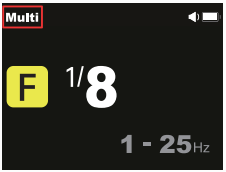
Hinweis: Die Blitzdauer wird nur angezeigt, wenn sich der M-Modus befindet und die HSS ausgeschaltet ist.



Multi: (Stroboskop)

Mit Stroboskopblitzen können Sie eine Reihe von schnellen Blitzen emittieren, die mehrere Bilder eines sich bewegenden Objekts auf einem einzigen Foto aufnehmen können. In den folgenden drei Schritten werden der Blitzausgang, die Anzahl der Blitze und die Blitzfrequenz (die Anzahl der Blitze pro Sekunde in Hz) eingestellt.

1. Drücken Sie kurz die MODE-Taste, damit der Bildschirm <Multi> anzeigt, und drehen Sie das Wahlrad, um die Blitzleistung einzustellen.
2. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um die Anzahl der Blitze einzustellen.
3. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um die Blitzfrequenz einzustellen.



Verschlusszeit rechnen

Während des Stroboskopblitzes sollte der Verschluss geöffnet bleiben, bis der Blitz stoppt. Verwenden Sie die folgende Formel, um die Verschlusszeit zu berechnen. Richten Sie sie dann mit Ihrer Kamera ein.
Anzahl der Blitze / Blinkfrequenz = Verschlusszeit
Wenn beispielsweise die Anzahl der Blitze 10 beträgt, beträgt die Blinkfrequenz 5 Hz und die Verschlusszeit mindestens 2 Sekunden.

Hinweis:

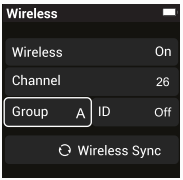
- Für Probanden mit starken Reflexionen ist es effektiver, Stroboskopblitze vor einem dunklen Hintergrund zu verwenden.
- Stativ und TTL-Blitz werden empfohlen.
- Das Blitzlicht kann nicht eingestellt werden, wenn der Blitzausgang 1/1 und 1/2 ist.
- "buLb" kann auch beim Stroben verwendet werden.
- Wenn die Anzahl der Blitze als -- angezeigt wird, blinkt der Blitz kontinuierlich, bis der Verschluss geschlossen oder die Batterie entladen ist. Wie in der folgenden Tabelle gezeigt, wird die Anzahl der Blitze begrenzt.

Maximale Anzahl vom Strobeskop

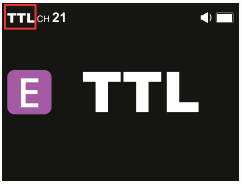
Hz / Blitzausgang	1	2	3	4	5	6-7	8-9	10	11	12-14	15-19	20-50	60-100
1/4	7	6	5	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2
1/8	14	14	12	10	8	6	5	4	4	4	4	4	4
1/16	30	30	30	20	20	20	10	8	8	8	8	8	8
1/32	60	60	60	50	50	40	30	20	20	20	18	16	12
1/64	90	90	90	80	80	70	60	50	40	40	35	30	20
1/128	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40
1/256	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40
1/512	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40

TTL: Automatisches Blitzen

Im TTL-Modus erkennt das Lichtmesssystem der Kamera das vom Motiv reflektierte Blitzlicht und passt die Blitzleistung automatisch so an, dass Motiv und Hintergrund gleichmäßig belichtet werden. Rufen Sie das Menü auf, indem Sie kurz die MENU-Taste drücken. Um die drahtlose Funktion einzuschalten, stellen Sie die Gruppe auf eine von A bis E ein und drücken Sie nach Abschluss der Einstellung zweimal auf das MENÜ, um zur Hauptschnittstelle zurückzukehren.



Ein kurzer Druck auf die MODE-Taste bewirkt, dass auf dem Bildschirm <TTL> angezeigt wird, wodurch der Blitz in den TTL-Modus wechseln kann.

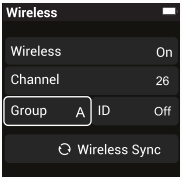


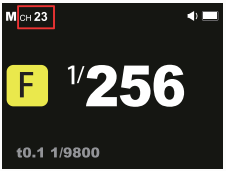
Funkübertragung (2,4G)

AD600Pro II verwendet ein 2,4G drahtloses X-System, das perfekt mit anderen Modellen unserer Fabrik kombiniert werden kann. Kompatible Kameras als Sklave-Einheiten sind Canon, Nikon, Sony, Olympus, Panasonic, Fujifilm, Pentax, Lycra usw., die automatisch entsprechend der Master-Steuereinheit ohne manuelle Einrichtung geschaltet werden.
Als Sklaveneinheit kann AD600Pro II von der Mastereinheit mit drahtloser Übertragungsfunktion gesteuert werden. Die Modelle sind wie folgt:
XPROII-Serie / X3-Serie / X2T-Serie / V1Pro-Serie / V1-Serie / V860III-Serie usw.\

Einstellungen für Drahtlos

Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um das Menü aufzurufen. Drehen Sie das Wahlrad, um das drahtlose Gerät auszuwählen. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um den drahtlosen Schalter/ Kanal/Gruppe/Identifikationsnummer/drahtlose Synchronisierung auszuwählen. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um eines der Elemente einzustellen. Drücken Sie nach der Einstellung kurz die MENU-Taste, um zum Menü zurückzukehren. Drücken Sie kurz die MENU-Taste erneut, um zum Hauptmenü zurückzukehren.





Kommunikationskanal einrichten

Wenn sich am Aufnahmestandort mehr als ein drahtloses Blitzsystem befindet, können Sie Signalstörungen verhindern, indem Sie den Kommunikationskanal ändern oder Identifikationsnummer festlegen. Stellen Sie jedoch sicher, dass die Mastereinheit und die Sklaveneinheit auf denselben Kanal eingestellt sind.

Drahtlos	EIN/AUS
Kanäle	1–32
Gruppe	0–9, A–F
ID	AUS, 1–99
Drahtlose Synchronisation	Drücken Sie kurz die SET-Taste für die drahtlose Synchronisierung

Für die Verwendung am Beispiel vom Blitzauslöser X3:

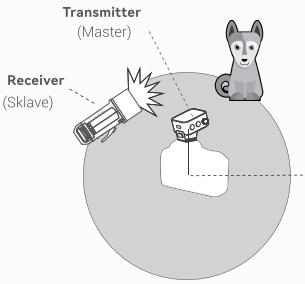
1. Schalten Sie die Kamera aus, stecken Sie den Blitzauslöser in die Blitzschuhbuchse der Kamera. Schalten Sie den Blitzauslöser-Netzschalter und das Netzteil der Kamera ein.
2. Einstellen vom Blitzauslöser X3: Schieben Sie den Bildschirm von oben nach unten, damit der Bildschirm <Einstellungen> anzeigt. Klicken Sie auf <Einstellungen>, um das benutzerdefinierte Menü aufzurufen. Klicken Sie auf Drahtloseinstellungen, um die Einstellungen für Kanal und

Identifikationsnummer aufzurufen. Wischen Sie den Bildschirm von links nach rechts, um zur Hauptoberfläche zurückzukehren. In der Hauptoberfläche können Sie den Blitzmodus oder die Blitzleistungsgänge der Gruppe einstellen.
3. AD600Pro II Blitzlicht einstellen: Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um Drahtlos auszuwählen, geben Sie die Drahtlos Einstellungen ein, um diese Funktion zu aktivieren, und stellen Sie den Kanal und die Identifikationsnummer so ein, dass sie mit dem Blitzauslöser übereinstimmen.
4. Klicken Sie im Blitz auf Drahtlos Sync. Wählen Sie Drahtlos Sync und drücken Sie dann kurz die SET-Taste, um den drahtlosen Kanal und die Identifikationsnummer beider Parteien auf die gleiche Nummer einzustellen.
5. Drücken Sie den Kameraverschluss, um einen Blitz auszulösen.

Fotografieren mit drahtlosem Blitzen

Positionierung und Bedienungsreichweite (am Beispiel für drahtlose Blitzaufnahmen)

- Eine Skaveneinheit für automatische Blitzaufnahmen verwenden

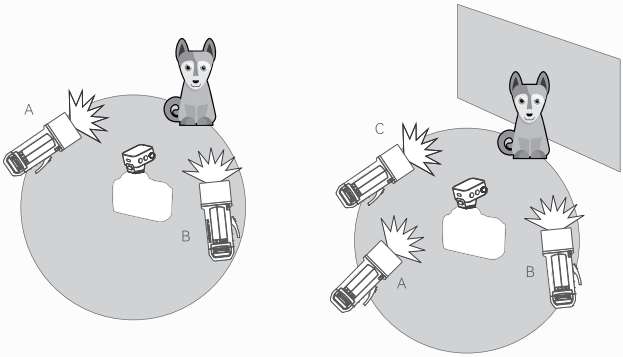


Hinweis:
1. Verwenden Sie das Master-Steuereinheit mit drahtloser Sendefunktion als Sendeseite.
2. Bitte testen Sie das Blinken und versuchen Sie mal das Aufnahmen, bevor Sie mit der Arbeit beginnen.
3. Unter dem Einfluss durch die Positionierung, Umgebung, Wetterbedingungen usw. kann die übertragungsdistanz kürzer sein.
4. Das Sklavenblitzlicht kann in der Steuerung der Master-Einheit auf Ausschalten (AUS) eingestellt werden

Fotografieren mit drahtlosem mehrem Blitzen

Sie können die Sklaveneinheit in zwei oder drei Gruppen unterteilen und automatische TTL-Blitzaufnahmen durchführen, während Sie das Blitzlichtverhältnis (Blitzleistungsrate) ändern. Darüber hinaus können Sie für jede Blitzlichtgruppe verschiedene Blitzmodi für die Aufnahme einstellen und verwenden.

- Sklavengruppen für automatische Blitzaufnahmen verwenden
- 3 Sklavengruppen für automatische Blitzaufnahmen verwenden



Blitzmodus

Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um das Menü aufzurufen. Drehen Sie das Wahlrad, um den Blitzmodus auszuwählen. Drücken Sie dann kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um Standard / Farbtemperatur / Erstarrung auszuwählen.

Standard	Standardblitz, keine Anzeige auf der Hauptschnittstelle.
Fabetemperatur	Die Farbtemperatur ist konstant. Nach dem Einschalten erscheint ein Symbol (Ⓒ) auf der Hauptoberfläche. Ddie Gruppenanzeige blinkt und der Summer klingelt eine Minute lang, wenn er eingeschaltet wird. Bei der Verwendung dieser Funktion beträgt die Farbtemperaturdrift des vollen Gangs etwa ± 100K.
Erstarrung	Im Erstarrungsmodus wird nach dem Einschalten ein Symbol (Ⓕ) auf der Hauptoberfläche angezeigt. Die Blitzzeit ist kürzer als im Standardmodus und die Leistung ist kleiner als im Standardmodus. Es wird nur im M-Modus und im Multi-Modus unterstützt.

Ursachen und Lösungen fürs Auslassen beim drahtlosen Blitzen bei Godox 2,4G

1. 2,4G-Signalstörungen in externer Umgebung (wie drahtlose Basisstationen, 2,4G wifi-Routing, Bluetooth-Geräte usw.)

→ Bitte passen Sie die Kanal-CH-Einstellung des Blitzauslösers an (empfohlen +10), suchen Sie einen nicht störenden Kanal, an dem Sie arbeiten können, oder schalten Sie andere 2,4G-Geräte

während der Arbeit aus.

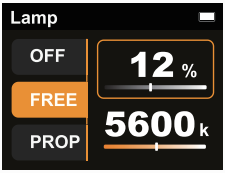
2. Bitte überprüfen Sie, ob der Blitz wieder bereit ist oder die Wiederbereitschaftsgeschwindigkeit mit der Geschwindigkeit der Serienaufnahmen Schritt gehalten hat und sich nicht in einem Überhitzungsschutz oder einem anderen abnormalen Zustand befindet
→ Bitte reduzieren Sie den Gang des Blitzes. Wenn es sich um den TTL-Modus handelt, können Sie versuchen, in den M-Modus zu wechseln (im TTL-Modus ist einmaliges Vorblinken erforderlich).

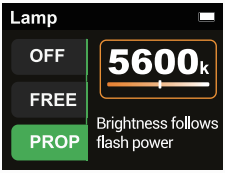
3. Ob Blinker und Blitz zu nahe sind (Abstand < 0,5m)
→ Schalten Sie den drahtlosen Nahfeldmodus auf dem Blitz ein:
X1-Serie: Halten Sie die Blitztaste gedrückt. Dann einschalten, bis die Kontrollleuchte zweimal blinkt.
Xpro, X2T-Serie: C.Fn-DIST auf 0-30m einstellen.
X3-Serie: Stellen Sie den Blitzabstand auf 0-30 m ein.

4. Ob sich der Blitzauslöser und das Empfangsgerät in einem niedrigen Leistungszustand befinden
→ Bitte tauschen Sie die Batterie oder den Ladegriff aus, um sicherzustellen, dass der Blitzauslöser und das Blitzgerät vollständig aufgeladen sind.

Stylingleuchten

Der AD600Pro II ist mit einem zweifarbigen 40W-LED-Stylingleuchte hoher Leistung ausgestattet. Drücken Sie kurz die Stylingleuchtentaste, um die Einstellungen aufzurufen. Drehen Sie das Drehrad, um ein- / ausgeschaltet bzw. befolgt zu werden. Drücken Sie einfach die SET-Taste und drehen Sie das Einstellrad, um eine der Einstellungen vorzunehmen. Nachdem die Einstellung abgeschlossen ist, drücken Sie einfach die Stylingleuchtentaste, um zur Hauptoberfläche zurückzukehren.





AUS	Helligkeit (in 1 % -Schritten)	Farbtemperatur (in 100K-Schritten)
EIN	10%~100%	2800K~6000K
FOLGEN	Leistung des Folgeblitzes	2800K~6000K

Benutzerdefinierte Funktionen

Symbol	Funktionen	Option	Anleitung
	Drahtlos	AUS	Drahtlos-Einstellung schließen
		EIN	Kommunikationskanal einrichten
	Blitzmodus	Standard	Standardblitzen
		Fabetemperatur	Einschalten im M-Nicht-HSS-Modus möglich
		Erstarrung	Unterstützung zum Einschalten im M-Modus und Multi-Modus
	Lichtgesteuertes Blitzauslösen	AUS	Blitzauslösen durch Lichtsteuerung ausschalten
		S1	Einschalten im M-Modus möglich
		S2	
	Hochgeschwindigkeitssynchronisation	AUS	HSS ausschalten
		EIN	Einschalten im M-Modus möglich
	Stylingleuchten	Blinken und Erlöschen	Wiederbereitschaftsanzeige des Blitzlichts erlischt
		Dauer	Dauerlicht
	Summer	AUS	Summer AUS
		EIN	Summer EIN
	Leistungsanzeige	1/512	Der Maschinenblitzgang wird als 1/512-1/1 angezeigt.
		1,0	Der Blitzgang des Geräts in Nicht-HSS-Modi wird als 1,0-10,0 angezeigt.
	Bildschirm im Standby	30 Sekunden	Keine Bedienung für mehr als 30 Sekunden geht der Bildschirm in den Ruhezustand
		1 Min.	Keine Bedienung für mehr als 1 Minute, dann geht der Bildschirm in den Ruhezustand.
		2 Min.	Keine Bedienung für mehr als 2 Minuten, dann geht der Bildschirm in den Ruhezustand.
		3 Min.	Keine Bedienung für mehr als 3 Minuten, dann geht der Bildschirm in den Ruhezustand.
	Automatische Abschaltfunktion	AUS	Auto. Herunterfahren deaktivieren
		30 Min.	Automatische Abschaltung nach 30 Minuten
		60 Min.	Automatische Abschaltung nach 60 Minuten
		90 Min.	Automatische Abschaltung nach 90 Minuten
		120 Min.	Automatische Abschaltung nach 120 Minuten
	Bildschirmhelligkeit	20%-100%	Helligkeitswert mit Wahlrad einstellen
	Verzögertes Blitzen	AUS	Verzögertes Blitzen ausschalten
		0,01-30,0 Sek.	In Schritten von 0,01 Sek.
	Schablone	2 Schablone	Einstellung des Wahlrads
		3. Sortierung	
		4. Sortierung	

	Sprache	Chinesisch	Die Schriftart in der Benutzeroberfläche wird auf Chinesisch angezeigt
		English	Die Schriftart in der Benutzeroberfläche wird auf Englisch angezeigt
	Wiederherstellen der Werkseinstellungen	Ja	Wiederherstellen der Werkseinstellungen
		Nein	Wiederherstellen der Werkseinstellungen abbrechen
	Gerätsdaten	Ohne Option	Anzeige des aktuellen Maschinenmodells und der Versionsnummer

Auslösen durch Synchronisationsbuchse

Die Spezifikation der Synchronbuchse ist Φ3,5mm, hier kann ein Synchronkabel eingesteckt oder mit dem Auslösestecker ausgelöst werden, damit der Blitz synchron blinkt.

Schutzfunktionen

1. Wärmeschutz

- Um zu verhindern, dass der Blitzkopf überhitzt und beschädigt wird, führen Sie nicht mehr als 100 schnelle Dauerblitze in 1/1-Leistung durch. Lassen Sie den Blitz nach 80 aufeinanderfolgenden Blitzen mindestens 10 Minuten abkühlen.
- Wenn Sie unmittelbar nach Eingabe des Dauerblitzes mehr als 80 Mal weiterblinken, kann die interne Überhitzungsschutzfunktion aktiviert werden, so dass sich die Rückrufzeit auf mehr als 10 Sekunden ändert. Wenn dies geschieht, lassen Sie den Blitz etwa 10 Minuten abkühlen und er wird wieder normal.
- Wenn der Wärmeschutz aktiviert ist, wird das Symbol < > auf dem Display angezeigt

Anzahl der aufeinanderfolgenden Blitze des aktivierten Wärmeschutzes:

Leistung	Anzahl
1/1	80
1/2 (+0.7~+0.9)	105
1/2 (+0.3~+0.6)	128
1/2 (+0.0~+0.2)	160
1/4 (+0.0~+0.9)	210
1/8 (+0.0~+0.9)	320
1/16(+0.0 ~ +0.9)	425
1/32(+0.0 ~ +0.9)	530

Leistung	Anzahl
1/64(+0.0 ~ +0.9)	1060
1/128(+0.0 ~ +0.9)	
1/256(+0.0 ~ +0.9)	
1/512(+0.0 ~ +0.9)	

Anzahl der aufeinanderfolgenden Blitze des aktivierten Überhitzungsschutzes während der Hochgeschwindigkeitssynchronisation:

Leistung	Anzahl
1/1	64
1/2(+0.0 ~ +0.9)	70
1/4(+0.0 ~ +0.9)	90
1/8(+0.0 ~ +0.9)	115
1/16(+0.0 ~ +0.9)	140
1/32(+0.0 ~ +0.9)	180
1/64(+0.0 ~ +0.9)	210
1/128(+0.0 ~ +0.9)	235
1/256(+0.0 ~ +0.9)	255

2. Sonstige Schutzfunktionen

Um den sicheren Betrieb des Geräts zu gewährleisten, führt das System immer einen präventiven Schutz durch. Die folgenden Aufforderungssymbole dienen als Referenz:

Anzeige am Display	Warnungsinhalte
Error1	Es gibt ein Problem mit dem Wiederbereitschaftssystem. Die Wiederbereitschaft kann nicht ausgelöst werden. Bitte schalten Sie ihn wieder ein. Wenn er nicht gelöst werden kann, reparieren Sie ihn bitte
Error3	Die Spannung an beiden Enden der Blitzröhre ist zu hoch. Bitte reparieren Sie sie
Error9	Fehler beim Firmware-Upgrade, bitte führen Sie ein korrektes Firmware-Upgrade durch

Technische Daten

Modell	AD600ProII
Drahtloser Sklave-Einheitsmodus	Radiomodus (kompatibel mit Canon E-TTL II, Nikon i-TTL, Sony, Olympus, Panasonic, Fujifilm, Leica, Pentax)
Blitzmodus	Drahtlos AUS: M/Multi
	Drahtloser Sklavenmodus: TTL/M/Multi
Index der Blitze (Gang 1/1)	87 (ISO100, in Metern, mit Reflektorabdeckung hoher Leistung)
Blitzdauer (t=0,1)	Standard: 1/220Sek.~1/11760Sek.
	Farbtemperatur:1/220Sek.~1/7400Sek.
	Erstarrung: 1/2570Sek.~1/20400Sek.
Leistung (1/1 Gang)	600Ws
Gänge	Stufe 10: 1/512 ~ 1/1 (0,1 inkrementelle Feinabstimmung unter jedem Gang)
Stroboskopblitz	Ausgestattet (Anzahl: 100 mal; Frequenz: 100 Hz)
Synchronisationsweise	Hochgeschwindigkeitssynchronisation (bis zu 1/8000 Sekunden), Synchronisation des vorderen Vorhangs, Synchronisation des hinteren Vorhangs
Verzögertes Blitzauslösen	0.01~30 秒
Schablone	√
Lüfter	√
Summer	√
Blitzdauer anzeigen	√
Lichtgesteuertes Blitzauslösen	S1/S2/OFF
Anzeige	Farbbildschirm
Stylingleuchten	
Max. Eingangsleistung	40W
Einstellbereich der Helligkeit	10%~100%
CRI	Durchschnitt ≥ 97
TLCI	Durchschnitt ≥ 98
CCT	2800K-6000K
Drahtloses Blitzen (2,4G Drahtlos)	
Netzteil	Lithiumbatterie (28,8V/2600mAh)
Blitzanzahl bei Vollleistung	360 Mal
Wiederbereitschaftszeit	Ca. 0,01~0,9 Sek.
Batterieleistungsanzeige	√
Energiesparung	Das Blitzlicht kann so eingestellt werden, dass er sich automatisch ausschaltet, wenn er 30-120 Minuten lang unbeaufsichtigt ist
Auslöseweise durch Synchronisation	3,5mm Sync-Kabel
Farbtemperatur der Blitzröhre	5800±200K

Abmessungen und Gewicht	
Größe (einschließlich Batterie, ohne Leuchtröhre, Reflektorabdeckung)	≈ 250×245×125mm
Nettogewicht (einschließlich Batterie, ohne Leuchtröhre, Reflektorabdeckung)	≈ 3kg

Firmware-Aktualisierung

- Dieses Gerät kann über den USB-C-Anschluss (Firmware-Upgrade) mit Firmware aktualisiert werden, und die neuesten Softwareankündigungen und Anweisungen werden auf der offiziellen Webseite veröffentlicht.
- Dieses Produkt ist ab Werk nicht mit einem USB-Kabel zum Upgrade ausgestattet, bitte separat erwerben. Die USB-Schnittstelle dieses Produkts ist eine USB-C-Schnittstelle. Bitte verwenden Sie ein USB-C-Kabel.
- Für die Produktupgrade-Firmware ist die Unterstützung der Godox G3-Programmsoftware erforderlich. Bitte laden Sie bei der offiziellen Godox-Webseite die "Godox G3-Firmware-Upgrade-Software" herunter. Installieren Sie sie, bevor Sie die Firmware aktualisieren. Wählen Sie dann die entsprechende Firmware-Datei aus.
- Aufgrund des Firmware-Upgrades des Produkts beachten Sie bitte die neueste elektronische Version des Handbuchs.

Wartung und Pflege

- Wenn der Blitz in Betrieb ist und eine Anomalie festgestellt wird, muss die Stromversorgung sofort abgeschaltet werden, um die Ursache zu ermitteln.
- Der Leuchtenkörper sollte Vibrationen vermeiden und auf die Entfernung von Oberflächenstaub achten.
- Leichte Erwärmung des Lampenkörpers ist normal, blinken Sie nicht kontinuierlich, wenn kein besonderer Bedarf besteht.
- Alle Reparaturen des Blitzlichts liegen in der Verantwortung der vom Werk benannten Wartungsabteilung, die Originalzubehör zur Verfügung stellt.
- 1-jährige Garantie, Verbrauchsmaterialien wie Leuchtkörper usw. fallen nicht unter die 1-jährige Garantie.
- Wenn festgestellt wird, dass der Blitz unbefugt inspiziert wird, wird die einjährige Garantiezeit des Blitzes storniert. Die entsprechenden Wartungsgebühren werden in Rechnung gestellt.
- Wenn dieses Produkt eine Fehlfunktion aufweist oder nass wird, kann es vor dem Gebrauch von einem Fachmann repariert werden.
- Technische Änderungen sind ohne Vorankündigung vorbehalten.

製品の修理保証

ご使用者様、本修理保証カードは修理保証の申請用の重要な証明書でございます。販売店にご協力いただき、ご記入とご保管ください。ありがとうございます。

製品情報	型号	製品のバーコード
ご使用者情報	名前	電話番号
	連絡先	
販売店情報	名称	
	電話番号	
	連絡先	
	販売日期	
備考欄		

本表は販売店より捺印が必要。

適用な製品

本書類は『製品修理保証情報』（後記の説明をご覧ください。）に関する製品シリーズに適用して、そのほかの本範囲に属していない製品あるいは部品（セール品、贈り物、ほかの出荷後の添付した部品等）はこの修理保証承諾に属していません。

修理保証期間

製品及び関連部品との修理保証期間は『製品修理保証情報』で実施します。修理保証期間は製品を初めて購入するときから数えて、購入日は購入するときに修理保証カードで記入された日期を基準とします。

修理保証サービスの獲得方法

修理保証サービスを要求したら、直接に製品の販売店または授権されたサービス機構と連絡できます。神牛のアフターサービスに電話をかけることもできます。我々のサービス員はサービスを手配します。修理保証を申請するときには、証明書として有効的な修理保証カードを提供して修理保証が得ることができます。有効的な修理保証カードを提供できないなら、我々は製品または部品が修理保証範囲に属することを確認したうえ、修理保証サービスも提供できますが、それはわれわれの義務となりません。

修理保証に適用しない場合

もし製品は以下の状況があるなら、本書類で記入された保証とサービスに適用しません。①製品または部品は相応な修理保証期間に超えること；②正しくなくて使用、メンテナンス、保管によって故障や損壊を起こすこと。例えば：不適当に運搬；製品の合理的な予期の用途で使用しないこと；不適当に外部設備を挿したり抜いたりすること; 落ちることや押しつぶすこと; 不適当な温度、溶剤、Ph、湿っぽい環境の中に置くこと; ③神牛が授権されていない機構または整備員より取り付けたり、修理したり、変更したり、添付したりしたり分解したりすることで起こした故障と損壊；④製品または部品のもともとの標識マークが修正し変更されたり、削除されたりすること；⑤修理保証カードがないこと；⑥非合法な授権、標準街、公開されていなくて発行するソフトウェアなどを使用して起こした故障や損壊；⑦不可抗力や事故で起こした故障や損壊；⑧ほかの製品自体で起こした故障や損壊ではないこと。上述の状況であれな、関連の責任者と解決対策を求めてください。我々はそれに対していかなる責任を持ちません。修理保証期間外や修理保証範囲外での部品、付属品、ソフトウェアなどで使用しなくなることについて、修理保証範囲内の故障ではありません。使用中、製品の正常的な脱色、摩耗と消耗は修理保証範囲内の故障ではありません

製品の修理保証とサービスサポートとの情報

製品の修理保証期間とサービスタイプとは『製品修理保証情報』によって実施します。

製品類別	オプションの名称	修理保証期間	修理保証サービスの類型
部品	電気回路基盤	12	顧客より修理出し
	電池	3	顧客より修理出し
	充電器などの帯電性能の部品	12	顧客より修理出し
そのほか	フラッシュチューブ、造形の電球、ケース、保護カバー、ロック装置、包装等	なし	修理保証なし

神牛製品のアフターサービス電話番号：0755-29609320-8062

Produktgarantie

Liebe Benutzer, diese Garantiekarte ist ein wichtiger Beweis für Garantie-Service zu beantragen, bitte kooperieren Sie mit dem Verkäufer auszufüllen und zu halten, danke!

Produktinformation	Modell	Produkt-Barcode
Benutzerinformation	Name	Kontakt Nummer
	Kontakt Adresse	
Anbieterinformationen	Name	
	Kontakt Nummer	
	Kontakt Adresse	
	Verkaufsdatum	
Bemerkung		

Hinweis: Dieses Formular sollte vom Verkäufer versiegelt werden.

Anwendbare Produkte

Dieses Dokument gilt für Produkte, die in den entsprechenden Produktgarantieinformationen aufgeführt sind (siehe Anweisungen später) und andere Produkte oder Komponenten, die nicht teil dieses Bereichs sind (z. B. Werbeartikel, Werbegeschenke und andere werksseitige Teile usw.), fallen nicht unter diese Garantieverpflichtung.

Gewährleistungsfrist

Die entsprechende Garantiezeit für Produkte und Komponenten basiert auf den entsprechenden Produktgarantieinformationen. Die Gewährleistungsfrist beginnt mit dem Datum des ersten Kaufs des Produkts, und das Datum des Kaufs ist das Datum der Registrierung der Garantiekarte zum Zeitpunkt des Kaufs.

Wie erhalten Sie einen Garantieservice

Um den Service zu garantieren, können Sie sich direkt an den Produktverkäufer oder die autorisierte Serviceagentur wenden oder uns unter der Kundendienst-Telefonnummer der Shenniu-Produkte anrufen, und unser Servicepersonal kann den Service für Sie arrangieren. Wenn Sie eine Garantie beantragen, sollten Sie eine gültige Garantiekarte als Garantienachweis vorlegen, falls Sie diese erhalten. Wenn Sie keine gültige Garantiekarte vorlegen können, können wir Ihnen auch eine Garantie gewähren, wenn wir bestätigen können, dass das Produkt oder Teil von der Garantie abgedeckt ist, aber dies ist nicht unsere Verpflichtung.

Umstände, bei denen die Garantie nicht gilt

Die Gewährleistungen und Dienstleistungen gemäß diesem Dokument gelten nicht **① das Produkt oder Teil überschreitet die entsprechende Garantiezeit, wenn das Produkt den folgenden Bedingungen unterliegt; ② Ausfall oder Beschädigung durch unsachgemäße oder unsachgemäße Verwendung, Wartung oder Verwahrung, wie unsachgemäße Handhabung; Nicht zur Verwendung für den vernünftigerweise vorgesehenen Zweck des Produkts; Unsachgemäßes Einstecken externer Geräte; Drop oder externe Kraftdrücken; Exposition gegenüber ungeeigneten Temperaturen, Lösungsmitteln, Säuren, Laugen, Überschwemmungen oder feuchten Umgebungen; ③ Ausfall oder Beschädigung durch Installation, Reparatur, Änderung, Ergänzung oder Entfernung durch eine nicht-Shenniu autorisierte Stelle oder Person; ④ Die ursprünglichen Identifikationsinformationen des Produkts oder Teils werden geändert, geändert oder entfernt; ⑤ Keine gültige Garantiekarte; ⑥ Ausfall oder Beschädigung durch die Verwendung von Software, die nicht gesetzlich zulässig, nicht standardmäßig oder öffentlich vertrieben ist; ⑦ Ausfall oder Beschädigung durch höhere Gewalt oder Unfall; ⑧ Sonstige Ausfälle oder Schäden, die nicht durch Qualitätsprobleme mit dem Produkt selbst verursacht wurden.** In den oben genannten Fällen sollten Sie eine Lösung von der zuständigen Partei suchen, für die Shen Niu nicht verantwortlich ist. Wenn das Produkt aufgrund von Teilen, Zubehör oder Software, die nicht unter die Garantie oder Garantie fallen, nicht ordnungsgemäß funktioniert, ist es kein Fehler, der von der Garantie abgedeckt ist. Normale Verfärbung, Verschleiß und Verbrauch während der Verwendung des Produkts ist kein Fehler, der durch die Garantie abgedeckt wird.

Produktgarantie- und Service-Support-Informationen

Die Gewährleistungsfrist und die Art der Dienstleistung des Produkts erfolgen gemäß den folgenden Produktgarantieinformationen:

Produktkategorie	Komponentenname	Garantiezeit (Monate)	Art der Garantieleistung
Komponente	Leiterplatte	12	Kundenreparatur
	Batterie	3	Kundenreparatur
	Ladegerät und andere Teile mit Live-Performance.	12	Kundenreparatur
Sonstig	wie Blitzröhre, Modellierbirne, Schale, Schutzhülle, Verriegelung, Verpackung usw.	Nein	Keine Garantie

Shen niu Produkte After-Sales-Service Telefon 0755-29609320-8062